

2022年度事務局総括

2月24日、ロシアのウクライナ侵攻により新型コロナ禍からの回復途上にあつた世界は、大きな混乱と分断に陥った。各企業は地政学リスクやサプライチェーン（供給網）の混乱、原料高や急激な為替変動、エネルギーの高騰、記録的なインフレ、二酸化炭素（CO₂）の削減など経営課題が山積している。

ブラジルもこれ等の余波を受ける中で、節目の独立200周年を迎え又4年に一度の総選挙も行われた。選挙の結果は地域的に分裂、ボルソナーロ支持派と対立・混乱の中で来年1月1日から労働党のルーラ政権（2期連続03年～10年）が再び咲き登場する。

まさに世界の分断の縮図がブラジルでも起こっている。世界経済が減速傾向にある中で、国家・国民を如何に一つにまとめ、庶民の生活を守り雇用の拡大を図っていくかが喫緊の課題と言える。今後、労働党政権が財政健全化を怠ったり、イデオロギー的なポピュリズムやバラマキ政策に拘り続けるなら、いつまでも未来永劫の大国で終わる事になろう。

次期政権下で前政権が先送りして来た行政改革や税制改革の断行には余り期待できそうでない。しかし、如何なる事態になっても、2017年末に漕ぎつけた労働法の改革が1943年当時のCLTに逆戻りする事だけは許されない。

未曾有なコロナ危機が、逆に絶妙に功を奏してANVISA（国家衛生監督庁）に係る大幅な規制緩和に繋がった。ブラジル自らの自助努力でOECDに加盟して世界標準を採用すれば、黙っていても内外からの投資家や企業進出を呼び込む結果に繋がる。日本メルコスールEPAの早期締結も決して夢ではなくなるからだ。

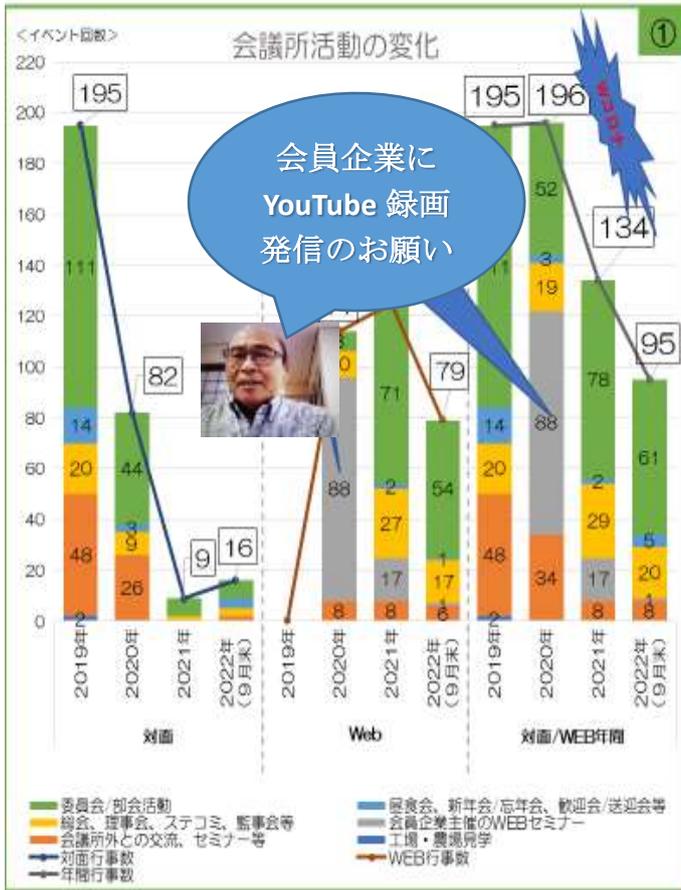
今後のEPAの早期締結交渉にあたっては、[「事務局長20年間の歩みと将来課題～何が課題で何を改め何を遺したか&会員増強への新しいチャレンジ～」](#)の中で、ボールは日本政府にある事を記してありますので、是非ともご参考にされて下さい。

目次

1. 昨年から続くコロナ禍での活動	3
委員会・部会別 回章発出回数（12月12日迄）	3
事務局便り発出回数	6
オンラインやハイブリッドでの委員会・部会活動.....	6
2. 政府関連の活動	13
経済産業省山中大臣官房審議官との意見交換会 2022年5月23日（月）	13
外務省小林中南米局長との意見交換会 2022年9月8日（木）	13
レイチ環境大臣との意見交換会開催 2022年9月23日（金）	13
3. 対面での行事の再開	13
定例懇親昼食会	13
日伯交流・地場企業推進委員会主催の懇親朝食会 （2022年10月4日）	14
環境委員会 RAÍZEN 社エタノール工場見学 （2022年10月13日）	15
相互啓発委員会 2022年度忘年会	15
4. 活動件数の年度毎推移の纏め-委員会、部会、経済情報発信、会議所表敬訪問者数等々(7日迄)	16
5. 会員数の推移	17

1. 昨年から続くコロナ禍での活動

オンラインがメインでありながら少しずつハイブリッドや対面での会議所活動も徐々に回復している。



①のグラフ：20年は、対面でのイベントや情報交換が著しく制限されたが YouTubeやオンラインによる様々な情報提供（法律事務所やコンサルタント企業およびJETROと共催で自発的なWebセミナー開催）を促進した為19年レベルを維持。21年は定款を改定し委員会・部会主導による活動形態にシフト。本来の会議所活動が徐々に回復基調にある。（一方、会議所外との交流やセミナーは激減のまま）
 ②のグラフ：日伯政府機関や会員内外企業などからの会議所訪問数は20年に対面やハイブリッド環境下を整えても激減、21年から徐々に増加し、22年は21年を若干上回る傾向。
 ③のグラフ：アクセスの80%は日本、HPを21年6月20日から5WPIC移行した。



委員会・部会別 回章発出回数 (12月12日迄)

2020/21年との比較

理事・監事選挙の次期に発足される選挙管理委員会の活動が主な増加の理由。

発出元	発出回数		
	20年	21年	22年 (12月12日迄)
発出回数計	80	132	142

年度	20年	21年	22年 12月12日迄
発出元	計		
相互啓発	0	4	5
環境	0	3	7
総務	0	3	1
イノベーション・中小企業	4	5	5
日伯経済交流促進	2	4	1
異業種交流	0	3	3
企業経営委員会		7	13
日伯法律	3	7	11
渉外広報	0	1	-
部会長シンポ・フォーラム		12	6
企画戦略	1	1	1
事務局担当		2	-
日伯交流・地場企業推進委員会	1	0	1
会頭/総務	0	3	-

会頭/財務	5	3	4
選挙管理	1		10
企業経営・地場企業推進	4	3	-
委員会計	17	58	68

2021年新設委員会	企業経営委員会/部会長シンポ・フォーラム/事務局担当
統廃合済み委員会	企業経営・地場企業推進
選挙期間のみ運営委員会	理事; 監事選挙管理委員会/

年度	20年	21年	22年 12月12日迄
発出元	計		
食品	4	7	5
金融	2	5	-
コンサルタント	3	5	8
機械金属	4	3	3
化学品	1	7	7
運輸サービス	4	3	4
貿易	1	1	1
自動車	2	2	2
電機・情報通信	2	3	3
生活産業	1	1	-
部会計	24	37	33

年度	20年	21年	22年 12月12日迄
発出元	計		
その他(会頭、総会、常任理事会、理事会、監事会、WG)	39	37	41

月毎の発出回数

発出元	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 (12日迄)	計
相互啓発	0	0	1	0	0	1	1	0	0	1	1	0	5
環境	0	0	0	0	0	0	1	2	3	0	1	0	7
総務	0	0	0	0	0	0	1	0		0	0	0	1
イノベーション・中小企業	0	1	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	5
日伯経済交流促進	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
異業種交流	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	3
企業経営	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	2	0	13
日伯法律	1	1	2	1	2	1	0	2	0	0	1	0	11
渉外広報	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
部会長シンポ・フォーラム	0	2	0	0	0	0	2	1	0	1	0	0	6
企画戦略	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
事務局担当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
日伯交流・地場企業推進	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
会頭/総務	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会頭/財務	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	4
選挙管理	0	0	0	0	0	0	0	4	3	2	1	0	10
委員会計	3	5	5	2	5	4	7	12	11	7	7	0	68

食品部会	2	0	1	0	0	0	2	0	0				5
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--	--	--	---

金融部会	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
コンサルタント部会	0	1	0	1	1	2	1	0	1	1			8
機械金属部会	1	0	0	0	0	0	1	0	1				3
化学品部会	1	2	0	0	0	0	1	0	1	2			7
運輸サービス部会	0	1	1	0	1	0	1	0	0				4
貿易部会	0	0	0	0	0	0	1	0	0				1
自動車部会	0	1	0	0	0	0		1	0				2
電機・情報通信部会	1	0	0	0	0	0	1	0	0	1			3
生活産業部会	0	0	0	0	0	0	0	0	0				0
部会 計	5	5	2	1	2	2	8	1	3	4	0	0	33
その他（昼食会、総会、 理事会、ステコミ案内、 監事会、WG）	2	3	3	4	3	3	3	5	3	6	6	0	41
計	10	13	10	7	10	9	18	18	17	17	13	0	142

事務局便り発出回数

2020/21年との比較

20年度に比べパンデミックも落ち着いたため、外部からの情報提供が約65%減。

発出元	計		
	20年	21年	22年
総領事館	73	63	30
大使館	23	7	2
事務局（速報、日商アンケート、Jica、Jetro、JBIC、新聞社や監査法人による情報提供）	136	67	52
計	232	137	84

月毎の発出回数

発出元	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月 (12日迄)	計
総領事館	7	5	6	3	2	1	1	1	1	2	1	0	30
大使館	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2
事務局（速報、日商アンケート、Jica、Jetro、JBIC、新聞社や監査法人による情報提供）	8	3	3	4	4	5	4	1	1	5	14	0	52
計	15	8	10	7	6	6	5	2	2	7	16	0	84

オンラインやハイブリッドでの委員会・部会活動

業種別部会フォーラム

2020年、年2回開催の業種別部会長シンポジウムは「フォーラム」として名称を変更。

部会長シンポ・フォーラム委員会担当の元、今年は上期、下期と2回に渡り計10回（毎回2本の講演）開催。

2022年上期フォーラム

実施予定日	Webinar 概要	講演者	視聴者数
3月3日(木) 9:00~10:00	第一回フォーラム 部会による2021年度下期の振り返り並びに今後の展望	金融部会 コンサルタント部会	85人
3月4日(金) 9:00~10:00	第二回フォーラム 部会による2021年度下期の振り返り並びに今後の展望	機械金属部会 自動車部会	90人
3月7日(月) 9:00~10:00	第三回フォーラム 部会による2021年度下期の振り返り並びに今後の展望	運輸サービス部会 貿易部会	70人以上
3月8日(火) 9:00~10:00	第四回フォーラム 部会による2021年度下期の振り返り並びに今後の展望	化学品部会 食品部会	80人
3月9日(水) 9:00~10:00	第五回フォーラム 部会による2021年度下期の振り返り並びに今後の展望	生活産業部会 電機・情報通信部会	80人

参加人数合計 405人

2022年下期フォーラム

実施予定日	Webinar 概要	講演者	視聴者数
8月25日(木) 9:00~10:00	第一回フォーラム 部会による2022年度上期の振り返り並びに今後の展望	金融部会 コンサルタント部会	70人
8月30日(火) 9:00~10:00	第二回フォーラム 部会による2022年度上期の振り返り並びに今後の展望	機械金属部会 自動車部会	90人
8月31日(水) 9:00~10:00	第三回フォーラム 部会による2022年度上期の振り返り並びに今後の展望	運輸サービス部会 貿易部会	85人以上
9月2日(金) 9:00~10:00	第四回フォーラム 部会による2022年度上期の振り返り並びに今後の展望	化学品部会 食品部会	80人
9月6日(火) 9:00~10:00	第五回フォーラム 部会による2022年度上期の振り返り並びに今後の展望	生活産業部会 電機・情報通信部会	80人

参加人数合計 405人

2022 年上期フォーラム

テーマ：部会による 2021 年度下期の振り返り並びに今後の展望

第一回フォーラム（2022 年 3 月 3 日）

金融部会 - 「2021 年下期の回顧と 2022 年の展望」のブラジルの経済動向の回顧ではインフレ継続、国内景気の低迷、政治の先行き不透明感、展望では、ディスインフレ、大統領選挙、財政懸念の再燃、今年の大統領選挙では現在の支持率や選挙スケジュール、主要マクロ経済では GDP、インフレ、金利並びに為替レートの推移及び予測、またマクロ経済指標では貿易収支、小売売上動向指数、基礎的財政収支、株価、Selic 金利、インフレ並びに為替レート予測を説明。銀行業界動向では、個人、法人、農業、鉱工業並びにサービス部門別貸出残高推移、平均貸出利鞘率推移、不良債権比率推移について説明。長野昌幸部会長は、保険業界動向について、保険業界動向について保険料収入推移、保険種目別保険料・損害率は自動車、火災、生命並びにマリオン保険、ブラジルの今後の保険市場の成長見通しでは、損害保険や生命保険について説明した。

コンサルタント部会 - 「2021 年度下期の振り返りと今年の見通し」について、ブラジル経営環境概況、COVID-19 の状況、ブラジルの M&A の状況、ブラジルの消費マインドと見通しでは、ブラジル・日本・全世界 及びブラジル世代別の消費者マインド、安全意識、家計の懸念、家計の支出の調査結果、ブラジル及び日本のレジャーと旅行についての比較、質疑応答ではブラジルの M&A 件数、傾向。サイバーリスクに対する意識などが挙げられた。

第二回フォーラム（2021 年 8 月 27 日）

機械金属部会 - 「2021 年度下期の振り返り並びに今年の展望」、副題「回復基調の継続と今後の動向に関するキーワード」として、初めに会員企業の状況では、事業分野並びに会員企業の状況を説明。また鉱工業生産の推移、土木建設指数、粗鋼生産、電力消費、石油製品、紙パルプ、工場用設備・制御機器、建設機械、ポンプ・エンジン・コンプレッサー等、工作機械・工具、自動車関連について説明。最後に今後に関するキーワードでは、政治リスク、インフレ、金利上昇、サプライチェーンに関する諸問題（生産資材の調達難、価格高騰、物流費用増加、貨物運送の遅延）、脱炭素化対応（再生エネルギーの動向、装置産業・製造業のカーボンニュートラルへの取組）、製造現場・生産設備のデジタル化、リモートオペレーションについて説明。

自動車部会 - 「2021 年上半期の振り返りと今後の展望」では、過去 20 年間の四輪・二輪の年間販売台数推移、月間販売推移、生産台数や輸出台数の推移、自動車価格の推移、ブランド別シェアの推移などについて説明。自動車業界の短期展望では、半導体の回復のタイミング、不透明や政治経済動向、中長期展望では税制、環境規制、カーボンニュートラルと自動車の電動化の問題点などについても説明。

第三回フォーラム（2022 年 3 月 7 日）

貿易部会 - 「2021 年度下期の振り返り並びに今後の展望」について、昨年を振り返ってよかったことでは、ワクチン接種の普及、働き方改革の推進、スタートアップ市場の活況、医療関連のコロナ特需、E コマース市場拡大。悪かったことでは、オミクロン株感染拡大、インフレによるコストアップ、国際物流タイト化及びコンテナ不足、天候不順による食品価格の上昇、半導体不足。ブラジルの貿易収支・為替・金利の推移、コモディティ商品価格上昇による輸出額増加。今年の注目点注意すべき事項として、オミクロン株の動向、新大統領による選挙後の政策、政策金利と物価動向、中国のラテンアメリカ地域への影響力強化、日メルコスール EPA の動向、生活スタイル変化による新しい需要、デジタルマーケティングなどについて説明。

運輸サービス部会 - 「海運」、「航空貨物」、「その他の物流」並びに「旅行・ホテル・航空旅客・レンタカー」セグメントについて発表した。

昨年度下期の振り返りでは、コンテナの輸出入数量、完成車輸送、ドライバルク貨物、GRU & VCP 空港の航空貨物輸出入取扱数量、ジェット燃料/原油価格推移、DU-IMP（新税関システム）導入の先送り、半導体不足、航空運賃並びに海上運賃の高騰、リーディングタイムの悪化、年末の税関の鈍行ストライキ呼びかけなどについて説明した。今年の展望では、脱炭素化に向けた取り組み、ロシアとウクライナとの摩擦、原油価格推移、国内旅客、国際旅客、国内ホテル並びに国内レンタカーの推移、旅客便の再運航は国の水際対策次第、新たな変異株の影響（運航乗務員不足、空港職員不足）、燃料費高騰、コロナ禍での港湾労働者の確保などに

いて説明された。商工会議所会員への伝言として、日本のコロナ禍の水際対策による早急な入国制限緩和が挙げられた。

第四回フォーラム（2022年3月8日）

化学品部会 - 「2021年度下期の振り返り並びに今後の展望」について、ブラジルGDP伸び率の推移、ブラジル化学品業界の売上推移、南米の自動車生産台数やフレキシブルパッケージ生産推移、穀物生産推移、輸送部門、ヘルスケア、農業、印刷、コンシューマー部門の回顧と展望について説明。

食品部会 - 南米の再生エネルギーのポジションと日本のカーボンニュートラル政策への貢献の考察について、南米のポリエチレン需要、電力エネルギーの動力源別の推移、グローバルGHG排出量とエネルギーからのCO₂排出量、世界の総発電電力量構成、ブラジルの再生燃料を使った事業でのCO₂排出の考え方、日本のカーボンニュートラル政策への貢献事例などについて説明。「2021年度の振り返り並びに今後の展望」について、食品部会会員企業、市場及び会員企業状況ではカテゴリー別動向及び会員企業状況、with/postコロナにおける課題では、コロナに伴う食産業へのマイナス影響、世界的なコスト上昇、ビジネスチャンスではコロナに伴う食生活の変化、新たな価値観への関心の高まり、各社の取組では、健康価値・高品質化の加速対応の付加価値化、消費者との接点の拡大によるチャネル変化への対応として、需要変化への対応（家庭内需要増、外食産業苦戦）。Eコマース拡大、販売におけるIT活用。オンライン活用による消費者コミュニケーションの強化企業価値の向上のサステナビリティでは、フードロス削減、プラ削減、CO₂削減、地域コミュニティへの貢献など持続可能な発展への貢献について説明。食品部会はTeam Japanとして事業を通じたブラジル社会・消費者への貢献を強調した。

第五回フォーラム（2022年3月9日）

生活産業部会 - 「2021年度下期の振り返り並びに今後の展望」について建設・不動産関係の2021年振り返り及び展望では、建設部門、不動産、商業賃貸市場及びエネルギー関連について説明。繊維関係の2021年振り返り及び展望では、会員企業の業績の推移、原材料高騰及びレアル安の為替の影響、資材関連などについて説明。綿花におけるSDGsのbetter cottonについて、綿花栽培農家が持続可能に繁栄することを支援する世界最大のプログラム。世界の綿栽培のマーケットシェア、ベター Cotton の歴史、better cotton の2030年までの目標としての気候変動の緩和。土壌環境改善。農薬使用量の減少。小規模農家の自立。女性の地位向上について説明した。質疑応答ではブラジル国内でのベター Cotton の生産量及び生産地域が挙げられた。

電機・情報通信部会 - 「2021年度下期の振り返り並びに今後の展望」についてアンケート結果では、2021年下期販売実績及び2022年上期販売予想、2021年下期の投資や経費などの変化、2022年上期予想の要因及び最優先経営課題、世界的な市況変化によるビジネスへの影響と対策、With/After コロナ対策として計画・実施中の事項などについて説明。市場概況では、設置機械稼働状況及び工作機械輸入金額傾向、ブラジルの液晶TV、オーディオシステム販売台数の推移、ブラジルのIT全般（モバイル・IoT市場）、2021年11月実施されたブラジル5G入札、ブラジルの携帯電話回線契約数推移、ブラジルのブロードバンド回線契約数推移について説明。最後に商工会議所、ブラジル政府、日本政府への要望として、日本・メルコスール間のEPA交渉の促進。財政不安の払拭、政治の安定化、各種改革（税制・民営化等）の加速。為替安定化施策の実行。現地生産基準(PPB)の見直し。ブラジル特有のビジネス上対応すべき点の発信を要請した。会員アンケート結果では約70%の会員企業が改善と回答、上期の回顧では多くの企業が回復トレンドも、依然としてコロナ禍の影響を受けている。大半の企業で従業員減少。日本人駐在員は前年比2割程度減少。下期の展望では大半の企業が昨年度水準若しくは改善の見通し。大半の企業で半導体、その他部材、^①費用の高騰の影響。需要が供給を大きく上回るも納品遅延や粗利の悪化及び対策がカギ。市場概況では、世界のクラウド市場、工作機械の設備稼働状況及び輸入の推移、ブラジルのブロードバンド回線契約数推移 主要国の5G開始状況、ブラジルのICT全般、商工会議所、ブラジル政府並びに日本政府への要望では、財政不安の払拭、政治の安定化、規制緩和や各種改革の加速、日本・メルコスール間EPA促進、商工会議所メンバーの情報交換会の実施などが挙げられた。

2022 年下期フォーラム

テーマ：部会による 2022 年度上期の振り返り並びに今後の展望

副題： 「ウクライナ危機を経験し、ブラジル（及び南米）市場のビジネス環境変化を踏まえて各部会・業界の対応は？（地政学的に見たブラジル市場）」

第一回フォーラム（2022 年 8 月 25 日）

コンサルタント部会 - ブラジル経営環境概況、ブラジルの M&A の状況、2021 年クロスボーダー国別件数では米国は 56.1%、ドイツ 5.5%、日本 4.6%、プライベートエクイティとベンチャーキャピタルの投資状況、2015 年以降のブラジル国内の投資推移及び投資セグメント、主要ユニコーン企業、ロシア及びウクライナとの貿易関係、大豆、トウモロコシ、鶏肉及び小麦の農産物コモディティの動向及び展望、経済的影響に対する政府の対応策などについて説明。

在ブラジル日本国大使館の中野大輔公使は、ブラジル大統領選挙と経済見通し・トピックと題して、2022 年ブラジル選挙日程、選挙の種類として大統領選挙、上院議員選挙、下院議員選挙、州知事選挙及び州議会議員選挙、想定される主要候補として左派のルーラ元大統領、中道左派のシロ・ゴメス候補、中道右派のシモーニ・テベテ候補、右派の現職のジャイル・ボルソナロ候補、候補者の支持率の推移、主要経済指標の状況、ボルソナロ候補が当選した場合は、パウロ・ゲアデス経済相続投や給付金見直しの可能性。ルーラ候補が当選した場合は、国会でのセントロン（Centrão：中道多数派）との駆引き。現実的にできる政策の実行。また労働法改正、財政支出上限政策の見直し、国営企業の強化、民営化政策、再工業化政策の導入、OECD 加盟や EPA 提携の可能性や必須条件などについて説明した。

金融部会 - ブラジルの経済動向世界及びブラジルの 2021 年から 2023 年の経済成長率予想、ブラジル経済の回顧では、資源価格上昇、サプライチェーン混乱によるインフレ圧力の高まり、Selic 金利の引上げ、展望では大統領選挙では世論調査、主要候補の政策、インフレ及び Selic レート高止まりによる購買力の低下、主要マクロ経済では GDP、インフレ、金利並びに為替レートの推移及び予測、またマクロ経済指標では貿易収支、小売売上動向指数、基礎的財政収支、株価、Selic 金利、インフレ並びに為替レート予測を説明。銀行業界動向では、個人、法人、農業、鉱工業並びにサービス部門別貸出残高推移、平均貸出利鞘率推移、不良債権比率推移について説明。保険業界動向について、保険業界動向について保険料収入推移、保険種目別保険料・損害率は自動車、火災、生命並びにマリンス保険、直近 5 年間の損害率推移、ブラジルの今後の保険市場の成長見通しでは、損害保険や生命保険について説明。

第二回フォーラム（2022 年 8 月 30 日）

機械金属部会 - 会員企業の状況では、事業分野並びに会員企業の状況を説明。また鉱工業生産の推移、土木建設指数、粗鋼生産、電力消費、石油製品、紙パルプ、工場用設備・制御機器、建設機械、ポンプ・エンジン・コンプレッサー等、工作機械・工具、自動車関連について説明。最後にウクライナ危機関連のアンケート調査結果として、COVID-19 パンデミック直前、ロシアによるウクライナ侵攻直前及び現在のブラジルビジネスの魅力度や経営方針の変化について説明。

自動車部会 - 2006 年以降の四輪・2001 年以降の二輪の年間販売台数推移、月間販売推移、生産台数や輸出台数の推移、自動車価格の推移、ブランド別シェアの推移などについて説明。自動車業界の短期展望では、半導体の回復のタイミング、不透明や政治経済動向、中長期展望では税制、環境規制、カーボンニュートラルと自動車の電動化、エタノール中心の脱酸素化トレンド、中華系自動車メーカーの動向などについて説明。

第三回フォーラム（2022 年 8 月 31 日）

貿易部会 - ブラジルの貿易収支の推移、輸出品目 TOP15 では大豆、石油、鉄鉱石、燃料油、牛肉、輸出相手国では中国、米国、アルゼンチン、オランダ、スペイン、輸入品目 TOP15 では軽油、塩化カリウム、石油、瀝青炭、LPG。輸入相手国では中国、米国、アルゼンチン、ドイツ、ロシア、ロシア及びベラルーシからの輸入では塩化カリウム、瀝青炭、尿素、リン酸アンモニウム、日本への輸出品目では鉄鉱石、鶏肉、アルミ、大豆、ペレット、輸入ではギアボ

ックス、コークス、レーン類、モーター類、対ブラジルへの直接投資の推移、下期の注目すべき項目などについて説明。古木副会長はメルコスールサミットについて、域内共通関税の引下げ、シンガポール・メルコスールFTA、中国・ウルグアイとの単独FTAなどについて説明。

運輸サービス部会 - 「海運」、「航空貨物」、「その他の物流」並びに「旅行・ホテル・航空旅客・レンタカー」セグメントについて発表。昨下期の振り返りでは、コンテナの輸出入数量、完成車輸送、ドライバルク貨物、GRU & VCP 空港の航空貨物輸出入取扱数量、ジェット燃料/原油価格推移、DU-IMP（新税関システム）導入の先送り、半導体不足、航空運賃並びに海上運賃の高騰、リーディングタイムの悪化、年末の税関の鈍行ストライキ呼びかけなどについて説明。今年の展望では、脱炭素化に向けた取り組み、ロシアとウクライナとの摩擦、原油価格推移、国内旅客、国際旅客、国内ホテル並びに国内レンタカーの推移、旅客便の再運航は国の水際対策次第、新たな変異株の影響（運航乗務員不足、空港職員不足）、燃料費高騰、コロナ禍での港湾労働者の確保などについて説明。また日本のコロナ禍の水際対策による早急な入国制限緩和についても説明。

第四回フォーラム（2022年9月2日）

化学品部会-ブラジル化学品業界の売上推移及びセグメント別売上では昨年の工業用化学及び肥料セクターの売上増加、農薬売上トレンド、南米市場の自動車生産台数推移やパッケージフィルム生産トレンドを説明。また輸送、ヘルスケア、農業、印刷、コンシューマー部門の回顧と展望。ウクライナ危機の市場や業績の影響について説明。ロート・ブラジル・ホールディング社の古賀社長は、ロート製薬概要と題して、多岐に亘るロート製薬の商品紹介、会社の歴史及び業績推移、先陣を切った番組提供によるマスコミ戦略、世界戦略としての事業の多角化・グローバル化の方向性、経営の推進、人造り、副業解禁、社会貢献活動、パートナー企業 OPTHALMOS S.A 社の概要、製品、売上トレンド、社会活動などを紹介。

食品部会-食品部会会員企業の主要及びサブ会員の状況、市場及び会員企業状況ではカテゴリー別動向及び会員企業状況、ウクライナ危機及び with/post コロナにおけるビジネス環境変化の課題では、調達・供給リスク対応、コスト高対応、消費者ニーズ対応などについて説明。また食品部会は Team Japan として、企業の垣根を越えた、積極的な交流や連携、互いの強みを生かした協業の可能性模索で事業を通じたブラジル社会・消費者への貢献について説明。

第五回フォーラム（2022年9月6日）

生活産業部会 -建設部門、不動産部門、商業賃貸市場及びエネルギー関連部門の各社業績推移、受注競争激化、平方メートル当たりの単価上昇、駐在員赴任回帰、原材料費の高騰、大統領選挙やワールドカップの影響、半導体不足、価格転嫁の利益減少、ウクライナ危機の影響などについて説明。繊維関係の2022年上期の振り返り及び今後の展望では、会員企業の業績の推移、衣類消費減少傾向、原材料高騰及び為替の影響、地政学的なブラジルへの再注目などについて説明。

電機・情報通信部会 -アンケート結果では、業界の販売伸長及び縮小の要因、投資や経費の変化、今後の展望では予想の要因及び最優先経営課題、世界的な市況変化によるビジネスへの影響と対策、DX・SDGs 関連取組、アンケートから見る経済展望などについて説明。市場概況では、設置機械稼働状況及び工作機械輸入金額傾向、ブラジルの液晶TV、ブラジルのIT全般（モバイル・IoT市場）、ブラジルの5G状況、パブリッククラウド状況、ブラジルの携帯電話回線契約数推移、ブラジルのブロードバンド回線契約数推移について説明。ブラジル政府、日本政府への要望として、日本 - メルコスール間のEPA交渉の促進。各国メルコスール関連の最新情報の発信、政治・財政の安定化、各種改革（税制・民営化等）の加速。為替安定化施策の実行。現地生産基準(PPB)の見直し。ブラジル特有のビジネス上対応すべき点の発信を要請した。また11月11日開催のITセミナーを案内した。

実施日	Webinar 概要	講演者	視聴者数
11月11日(金) 9:30~11:00	ICT セミナー (電機・情報通信部会)	NTT 竹内文孝様 NTT データ 中尾太郎様 NTT ドコモ清水 一郎様	57人
11月22日(火) 14:00~15:00	初の左派政権を迎えたコロンビアの今	ジェットロ・ボゴタ事務所 豊田哲也所長	60人

参加人数合計 117人

ICT セミナー（電機・情報通信部会）

第一部：いま、企業を強くするためのサイバーリスクマネジメント

～「個の自律」と「集団の調和」による共助のすすめ～

社会変容に伴うサイバーリスクマネジメントの再定義、サイバーリスクの動向、脅威の実態、なぜ、サプライチェーンが狙われるのか、ゼロトラストの背景にある犯罪組織の実態、ゼロトラストに求められる対策ポイント1, 2, 3。100%完璧な防御は現実的か？、リスクの可視化と制御、そして責任追跡性の確保。「個の自律」と「集団の調和」による共助のすすめ。個々に対する継続的なリスク可視化と評価。纏めではセキュリティ対策は会社を強くする戦略的な投資の位置づけ及び被害最小化を目的に、自社の文化を尊重し、バランス感のある、企業力を最大化するセキュリティ対策の取組の重要性を説明。

第二部：NW 領域の市場・技術動向とIT プレイヤーの動き

～Open & Virtualized Network や Private 5G の影響～

モバイルネットワークの市場・技術動向とIT プレイヤーの動き、モバイルネットワークは、4G LTE から 5G へ、5G への期待値 - Enterprise でのユースケース、「5G for Enterprise」におけるIT プレイヤの動向、小規模実装が可能な 5G Private ネットワーク、NTT Ltd.による Private 5G の提供、Public ネットワーク → Public+Private がもたらすプレイヤマップの変化、用語の解説、これまでの業界地図及び変化、RAN のオープン化、ネットワークの仮想化、ソリューションを Integrate するプレイヤの必要性。ソリューションを束ねて提供するプレイヤの出現、Open Virtualized Network がもたらすプレイヤマップの変化などについて説明。

第三部：「NTT ドコモの XR/Virtuality への挑戦」

～XR の取り組みおよびコンシューマ向け及び企業向けサービスのご紹介～

様々な社会課題に対するメタバース・XR の展望およびドコモにおける XR 関連取り組みとして、コンシューマ向けマルチデバイス型メタバース「XR World」や「XR City」、法人向け遠隔保守、バーチャルオフィス等といった XR を用いた様々なサービス展開、最新事例を説明した。質疑応答ではセキュリティ対策でのガバナンスのチェック方法。世界のメタバースの市場規模が挙げられた。

初の左派政権を迎えたコロンビアの今

ペトロ新政権の動向として、2022年6月の決選投票で、グスタボ・ペトロ氏が50.44%の得票率で勝利。8月7日就任。長年、右派と中道右派が政権を担ってきたコロンビアで、初の左派政権が誕生。主要閣僚に実務経験者を配置する人事と評されるオカンボ大蔵・公債相指名について産業界からは歓迎の声。閣僚18名中、半数の9名が女性閣僚が占めている。3月に実施された議会選挙では、自由党と保守党という伝統的な2大政党が支持を伸ばした一方、左派のパクト・イストリコが大幅に躍進。ペトロ氏の大統領選勝利以降、保守党、U党、自由党、緑の党が次期大統領を支持すると表明。上院、下院ともに与党が約9割を占める構成となっている。日本企業関連の状況では、80社の日本企業が進出、そのうち約40社が駐在員を派遣。2021年の営業利益は前年と比べ「改善」が44%。半数は「横ばい」。最大の改善理由は「現地市場での売り上げ増加」。今後1~2年で事業展開を「拡大」との回答は55%と中南米有数。EPA実務者間での交渉が停滞。租税条約は2018年12月署名も漸く今年9月4日発効。最後に豊田所長は、外面イメージの良くないコロンビアですが、ビジネスチャンスの大きなコロンビアには実施に来て肌で感じてほしいと要請した。質疑応答では、現在のコロンビアではコカインは合法化されたのか。脱炭素に対する現地企業の対応は。砂糖及び塩の入った食品に対する課税措置は既に開始されたか。ラーメンも多勢対象になるのかなどが挙げられた。

異業種交流委員会主催ウェビナー

実施日	Webinar 概要	講演者	視聴者数
5月25日(水) 10:00~11:00	ネギ王・(日系二世) 斎藤俊男様の逆転人生	斎藤俊男氏	50人
8月12日(金) 10:00~11:00	私のリーダーシップ論、一日系企業家 50年の視点から	石川レナト氏	90人
11月25日(金) 10:00~11:00	大統領選挙結果を受けての今後のブラジル 政治及び日伯関係	西森ルイス氏	75人

参加人数合計 235人

5月25日(水) - ネギ王・(日系二世) 斎藤俊男様の逆転人生

異業種交流委員会(吉田伸弘委員長)主催のオンラインセミナーは2022年5月25日午前10時から11時まで約50人が参加して開催、講師に日系2世の斎藤俊男氏を迎えて、テーマ「ネギ王・斎藤俊男様の逆転人生」で講演、進行役は湯原慶副委員長が務めた。斎藤さんは自分の会社を作る目標のために、給与の良い危険な高圧電気工事がむしゃらに働いて1995年に有限会社設立。人材派遣、業務請負、不動産業務、保育園など手広く経営。2008年のリーマン危機で会社は壊滅的な影響を受け、税金滞納相談に税務署に行く途中に、跡継ぎのいない多くの放棄されている荒れた農地を見て、農業参入のチャンスが閃いた。

8月12日(金) - 私のリーダーシップ論、一日系企業家50年の視点から

異業種交流委員会(吉田伸弘委員長)主催のブラジル日本文化福祉協会の石川レナト会長のハイブリッド講演会は、2022年8月12日午前10時から11時50分まで約90人が参加して開催、司会は湯原副委員長が務めた。日系社会への恩返しとして社会奉仕活動を積極的に行っている。サンタ・クルース病院の理事長として、おもてなしの思想、トヨタ生産方式の導入を行った。人望の厚い石川氏は、呉屋春美前会長の指名を受けてブラジル日本文化福祉協会会長に就任。現在は2023年末まで第2期会長として、調和、対人関係、若いリーダーの参加をモットーにデジタル化に取り組んでいる。社会福祉活動など八面六臂の活躍をしている石川氏はサンパウロ名誉市民、外務大臣賞などを授かっている。また石川氏は、人のことを気に掛けることがリーダーにとって最も大切なことであり、人造りが私の自慢できることと結んで素晴らしい講演を終えた。

11月25日(金) - 大統領選挙結果を受けての今後のブラジル政治及び日伯関係

異業種交流委員会主催の西森ルイス連邦下院議員のオンライン講演会は2022年11月25日午前10時から11時まで75人が参加して開催。司会は湯原慶副委員長が務め、吉田伸委員長は開催挨拶で講演者の西森ルイス連邦下院議員の略歴などを紹介。西森下院議員は、テーマ「今後のブラジル政治経済及び日伯関係」について、初めに両国の政治経済の現状及び課題として、政治家は土日もないほど忙しくあちこち飛び回る必要があり、ハードワークで体が資本。最近の選挙はソーシャルネットワーク活用の重要性が増してきている一方で、フェイクニュースが多くて苦労している。パラナ州の下院議員選挙では600人が立候補、そのうち日系人は5人が立候補したが、倍率20倍の選挙を勝ち抜いた。知名度の高い人の当選確率が高く、私は選挙中は日系社会や日本進出企業の重要性を強調してきたと説明。

委員会・部会/ワーキンググループ主催のセミナー

企業経営委員会月例会、日伯法律委員会月例会、労働問題研究会、安全対策セミナーやイノベーション・中小企業委員会セミナー等も活発に行われた。

2. 政府関連の活動

経済産業省山中大臣官房審議官との意見交換会 2022年5月23日（月）

山中審議官（元在ブラジル日本国大使館公使）からの挨拶に始まり、続いて小寺日伯経済交流促進委員長が商工会議所の活動を紹介、その後、会議所各部会からの参加者よりビジネス上の問題点や日伯貿易投資促進委員会への要望、日メルコスル EPA の要望などについて説明が行われ、活発な質疑応答セッションが行われた。最後には平田事務局長からのコメント、同審議官の閉会挨拶で終了した。参加者数 15名

外務省小林中南米局長との意見交換会 2022年9月8日（木）

会議所の役員、各業種別部会代表者らとともに日メルコスル EPA の早期交渉開始の可能性やビジネス環境の改善、ブラジル政治経済の見通し、地政学的リスクが各業界に与える影響などについて意見交換を行った。司会を務めた平田事務局長はブラジル側では日メルコスル EPA に関する働きかけは過去 2003 年から行ってきた。その絶頂期は 018 年にメルコスル 4 か国の商工会議所会員にアンケート、8 割以上が EPA 締結を懇請、同年 10 月に経団連と日商が当時の菅官房長官に要望書を手交、また今年 4 月にも経団連から萩生田経済大臣に EPA 実現に向けた共同声明書を建議。現状ではむしろ EPA のボールは日本にあるという理解をしている。人、モノ、金、サービスが自由に動く EPA、日本側も観光ビザを含めフリー化し、基本的な人の交流を活性化させるという観点からも早期締結を要請した。それに対し小林局長はボールはずっと日本政府が握っているという厳しいご指摘はそのとおりだと思っており、引続き検討していくと述べた。参加者数 官側 4 名/会議所側 13 名

レイチ環境大臣との意見交換会開催 2022年9月23日（金）

レイチ環境大臣との意見交換会は、2022年9月23日午後4時から5時30分まで26人が参加して開催、進行役は小郷 剛広副委員長が務め、初めに秋山 雄一委員長が開催挨拶で、日本の最先端技術でブラジルの環境改善で協力できるのか意見交換したい。環境問題に関心の高い部会から多数参加、ビジネスチャンスの発掘に結びつけたら嬉しいと挨拶した。意見交換会では①クリーンエネルギー（再生エネルギー）、②メタン排出削減の為の固形廃棄物処理、③カーボンクレジット市場メカニズム、④グリーン投資、⑤グリーンな自動車産業の為の政策の5分野について意見交換を行った。参加者数 26名

3. 対面での行事の再開

定例懇親昼食会

2022年7月22日

商工会議所の懇親昼食会は2022年7月22日正午から2時過ぎまで120人が参加して開催、Covid-19パンデミックの影響で2020年2月の懇親昼食会を最後に約2年半も中断を余儀なくされていた経緯があった。村田俊典会頭は会頭挨拶で、2年半ぶりの対面懇談会で再会できてうれしい。ネットワークによる情報交換の重要性の再認識できる懇談昼食会の再開。コロナ禍で苦しい



中での会員継続に感謝。Covid-19パンデミックはいろいろな変化の対応を迫られた。オンライン理事会開催。オンラインによるセミナーは参加増加。対面でのネットワークはオンラインよりも良い面がある。10月には大統領選挙を控えているが、現職は負けたことがないが、ルーラ元大統領が優勢。しかし最も重要なことは2023年からの4年間の舵取である。今年は2年に1回の理事選挙で定款変更後の初めての選挙などについて説明。桑名良輔総領事はテーマ「我が国の外交とブラジル（主にサンパウロの視点から）」と題して、現在、世界は歴史の大転機であり、既存の国際秩序への挑戦、ロシアによるウクライナ侵攻など透明性を欠く軍事力の強化や一方的な現状変更の試み。また自由、民主主義、法の支配、

人権等の普遍的価値への挑戦。国連やWTOなど戦後の国際秩序を支えてきた国際機関・制度の限界が露呈。地球規模課題への対応をめぐる動きなどについて説明。

2022年8月19日

イースタンプラザホテルに約90人が参加して開催。講師歓迎の辞で村田会頭は、ブラジル駐在24年間の間に4回の大統領選挙を見てきたが、今回は最も拮抗した大統領選挙になると思う。どちらが当選しても来年以降のブラジル経済は大きな転換期を迎える。講師のリカルド・セナス氏は、2019年9月にもテーマ「政治シナリオ及び経済インパクト」と題して講演して頂いており、メディアで報道されない水面下の情報を聞けるチャンスと紹介。リカルド・セナス氏はテーマ:「2022年ブラジル選挙ーその見通しとインパクト」と題して講演。桑名良輔総領事は、日本人移民先駆者ー上塚周平と平野運平 ノロエステ地方:プロミッソン市カ フェランジア市(平野植民地)と題して講演。

2022年9月23日

Gran Estanplaza Berrini ホテルに約90人が参加して開催。村田俊典会頭は、会頭挨拶でコロナ禍で中断していた昼食会から再開して3回目の昼食会。コロナ禍による制限されないビジネス環境が正常化しており、8月の相互啓発委員会によるゴルフコンペは盛大に行われ、プレゼンシャル効果を改めて認識した。今日午後からレイチ環境大臣との意見交換会。10月4日は日伯交流・地場企業推進委員会主催の朝食会。10月13日は環境委員会主催のハイゼンエタノール工場見学会など色々なイベントが目白押し。2週間後の大統領選挙は接戦が予想されている。政権交代した場合は2023年以降は極めて重要となる。今年は理事・監事選挙があり、オンライン投票への参加を要請した。林大使は、テーマ「最近のブラジル情勢(大統領選挙を含む)と日本との二国間関係の動き」について講演。JICA Brasilの江口雅之所長は、「中小企業・SDGビジネス支援事業」について、国際協力におけるビジネスの役割の拡大、新興国・途上国の市場拡大とイノベーション拠点としての重要性、|「中小企業・SDGsビジネス支援事業」の現況、事業コンセプト、試行的制度改編、事業実施体制・契約形態、制度の構成とカバー範囲、ニーズ確認調査、ビジネス化実証事業、本事業参画メリット、対象国・対象分野・募集スケジュール、審査のポイントなど詳細に説明。

2022年10月21日

ルネッサンスホテルに90人弱が参加して開催。村田会頭は会頭挨拶で、9月末から行われていた2023/24年度理事・監事選挙で新たな理事30人及び監事会3人、補欠3人が決まった。また米国の金融引締め政策などによる150円に達する円安為替の影響に関するセミナー開催の可能性。昼食会や忘年会への参加の声掛けを要請した。桑名総領事は、「ブラジルの選挙情勢」をテーマに講演。

2022年11月18日

チボリホテルに120人が参加して開催。村田俊典会頭は、初めに臨時理事会で承認された小寺勇輝次期会頭を紹介、自身はトータル5年9カ月の会頭就任期間では定款変更やオンラインセミナーなどの対応。Covid-19パンデミックで長きにわたって中断していた懇親昼食会の7月からの再開。残された期間の小寺新会頭への引継ぎなどを説明した。小寺新会頭は来年1月からの会頭の就任は、村田会頭の後任として身の引き締まる思いであるが、お世話になったブラジルに日伯関係強化で恩返しをしたいと述べた。総領事館からの報告では、小室千帆 首席領事は「草の根・人間の安全保障」について、日本政府が実施する無償資金協力のスキームで発展途上国における経済社会開発を目的に地域住民に直接裨益する比較的小規模な事業への資金供与で対象プロジェクトは保健・医療分野。基礎教育分野、民政・環境分野。「フランカ市精神病院車椅子移送車整備計画」や「サンタナ・デ・パルナイーバ市車椅子整備施設建設計画」を紹介した。日系銀行3行(MUFG銀行/みずほ銀行/三井住友銀行)のエコノミストの方々によるルラ新大統領の経済政策や2023年以降の経済動向についてパネルディスカッションが行われた。

日伯交流・地場企業推進委員会主催の懇親朝食会 (2022年10月4日)

午前8時から11時、日伯交流・地場企業推進委員会(委員長 鈴木ワグネル)主催の懇親朝食会がホテルBlue Tree Premium Paulistaで開催。約60人が参加した同イベントはポルトガル語で行われ、主に会議所会員の地場企業経営者、進出日本企業の現地スタッフを対象とした。司会は三原フェルナンド副委員長が務めた。鈴木ワグネル委員長の挨拶に始まり、続いて村田俊典会議所会頭が日本のマネジメントスタイル等について講演を行った。そ

の後、「日本企業とのビジネス- 文化の違い、課題並びにアドバイス（“Como fazer negócios com as empresas japonesas? - diferenças culturais, desafios e recomendações.”）」と題して、大野友香副委員長がモデレーターとなり、村田会頭と佐々木リカルド副委員長とのパネルディスカッションが行われた。

環境委員会 Raizen 社エタノール工場見学（2022年10月13日）



2022年10月13日、環境委員会（秋山雄一委員長）主催のエタノール工場見学会が開催された。約40人が参加。見学場所は在サンパウロ日本国総領事館の紹介でRaizen社のBioparque Costa Pinto（サンパウロ州ピラシカバ市）。Raizen社は、石油元売会社シェルグループとブラジルの製糖大手Cosan社が共同出資して設立した合弁企業。現在35か所の拠点で砂糖、エタノール、バイオエネルギー、第2世代エタノール等を製造。

サトウキビの搾り汁を原料とする従来のバイオエタノール生産と並行して、セルロースを主要構成成分とするバイオマスを利用した第2世代バイオエタノールにより同じ総作付で生産性が50%上がり、カーボンフットプリントを35%減少することが可能となった。

相互啓発委員会 2022年度忘年会

ブラジル日本商工会議所の2022年度忘年会は、12月15日午後7時から10時過ぎまでチボリホテルに170人が参加して開催、司会は相互啓発委員会の小林さんと西口さんが軽快なテンポで盛り上げた。村田会頭は会頭メッセージとして、流暢な日本語とポルトガル語でCovid-19パンデミックの影響で、3年ぶりの忘年会を楽しんでほしいと挨拶。



2015年～2016年を含めた通算5年3カ月の会頭職を年末に終了するが、退任する20年勤務の平田事務局長とは、二人三脚で会議所活動に邁進してきた。来年は小寺新会頭が舵取りをするので、会員の積極的な協力を要請した。桑名総領事もまた、村田会頭同様に流暢な日本語とポルトガル語で、2年4カ月前に着任。コロナパンデミック改善で対面で会えるのはうれしい。来年のカマラは小寺会頭の新体制となるが、村田会頭及び平田事務局長の長年の会議所活動に対して丁寧に労い、最大限の感謝を述べた。今年の忘年会のアトラクションは、テレビや各種イベントで活躍しているマリオ・カミアさんのマジックショー。平田事務局長の退任挨拶では、過去20年間でこれほど楽しい忘年会はなかった。20年間無事に務めることができた。走馬灯の如く色々な記憶が蘇ってきた。自分が印象に残ったことを65枚のスライドにした。色々な知人から退任を惜しむメールをいただき感謝に堪えない等挨拶をおこなった。

4. 活動件数の年度毎推移の纏め-委員会、部会、経済情報発信、会議所表敬訪問者数等々(7日迄)

項 目	2019年	2020年		2021年		2022年	
		対面	Web	対面	Web	対面	Web
懇親昼食会、夕食会、忘年会、新年会	12	3	0	0	2	8	1
歓迎・送会(大使、総領事、常任理事他)	2	0	0	0	0	0	0
部会・分科会・各種WGの懇談会開催件数(部会・長シンポ、共催)	50	14	7	0	19	1	17
委員会の開催件数(異業種交流委員会)	7(1)	3(1)	1	8(1)	15(1)	5(1)	2
同上(会議所外 GIE・CDM 会合、FIESP 等の公的機関)	0	0	0	0	1	0	0
日系諸団体との会議(日系代表5団体ほか)	5	3	7	0	0	0	0
月例会の件数(法律、労働問題)	21	5	0	0	15	0	22
総会・臨時理事会	4	2	2	0	1	1	2
部会・委員会・分科会・WG主催のセミナー、イベントの開催件数(共催)	32	21	0	0	23	5	23
会員企業主催のWEBセミナー	0	0	88	0	21	0	1
研修旅行(大・小旅行相互啓発主催)	0	0	0	0	0	0	0
工場・農場見学相互啓発主催(委員会)	1	0	0	0	0	1	0
同上(部会主催)	1	0	0	0	0	0	0
他の団体との会議・シンポ・セミ・フォーラム(官民合同、経団連、FIESP 訪日ミッション、全伯日系会議所、日伯議員連盟、他州ほか)	30	15	1	0	3	2	3
他団体主催のイベントへの参加	13	8	0	0	5	1	3
監事会、定例理事会、ステコミ会議の開催件数	16	7	8	2	22	4	22
表敬訪問件数(FC含む訪問件数)	134	45	9	66	13	92	3
新聞社訪問件数(部会長懇談会案内他)	2	1	0	0	0	0	0
アンケート調査件数	7	13	0	4	5	0	0
各種調査依頼数(日本からの調査依頼)	22(20)	0	0	0	0	0	0
会員からの提言件数	0	0	0	0	0	0	0
分科会・(準備)委員会・WGの設置件数	0	0	0	**2	0	0	0
昼食会の知事、大臣レベルの出席回数	0	0	0	0	0	0	0
ブラジル経済情報の送付件数	206	211		211		228	
事務局便りの送付件数(外部団体主催含む)	106	232		133		84(12月末)	
回章件数	132	94		134		142(12月末)	
会議所ホームページ・累計ページビュー数(※)	7,952,976	8,377,229		8,541,908		8,654,816(12月12日迄)	

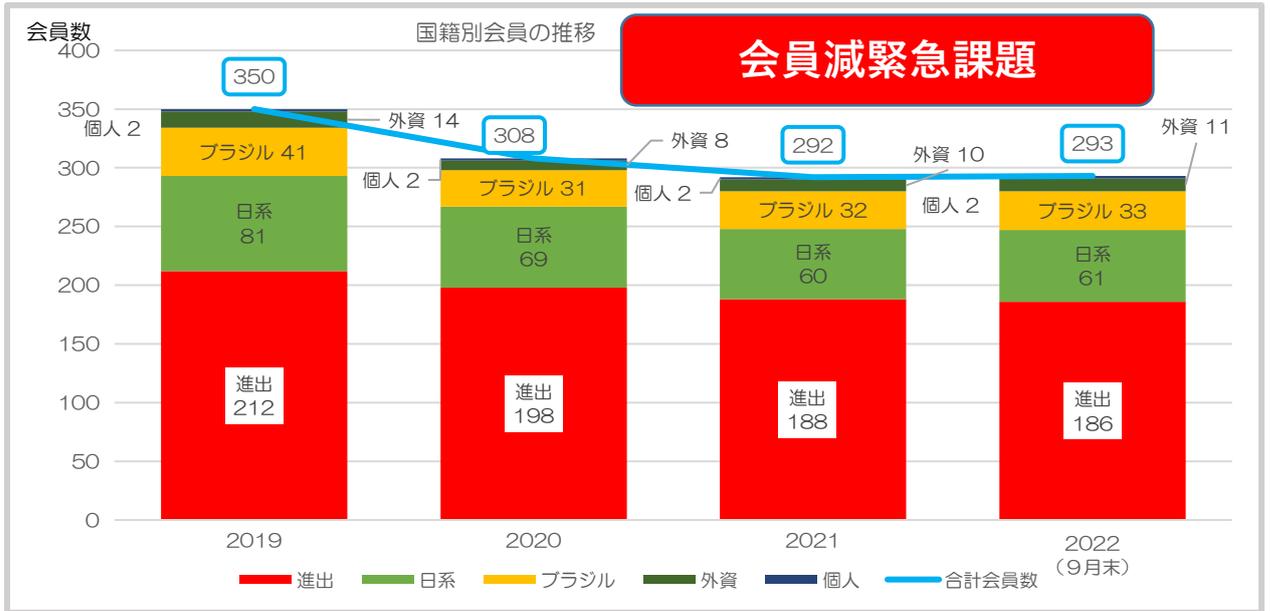
(※) サイト移行時 2021年6月以降よりビュー数の計測が従来のやり方ではできなくなった。今後の計測としてはGA4で新しくデータを蓄積し、分析をしていく必要があるという事で新日本語サイトは2022年4月~新ポル語サイトは2022年9月~(他の作業にあたっていたため、9月に設定された)空白期間が発生。空白期間の具体的なアクセス数は現時点では確認する方法がない。移行前/移行後のアクセス数の増減(数字ではなく増減のみ)が確認できる可能性としてUAという名のバージョン(*)の設定を新サイト(日・ポ)に行った。数か月後に数字を抽出し、比較可能かを確認。上記が上手く行けば、空白期間の平均的な数字が確認できるかもしれない。但し、UAが使用できるのは2023年7月1日までとされている。*UAなので本来であれば旧バージョンの様なカウントの仕方だが、確認が必要。

表敬訪問数(12月7日迄)

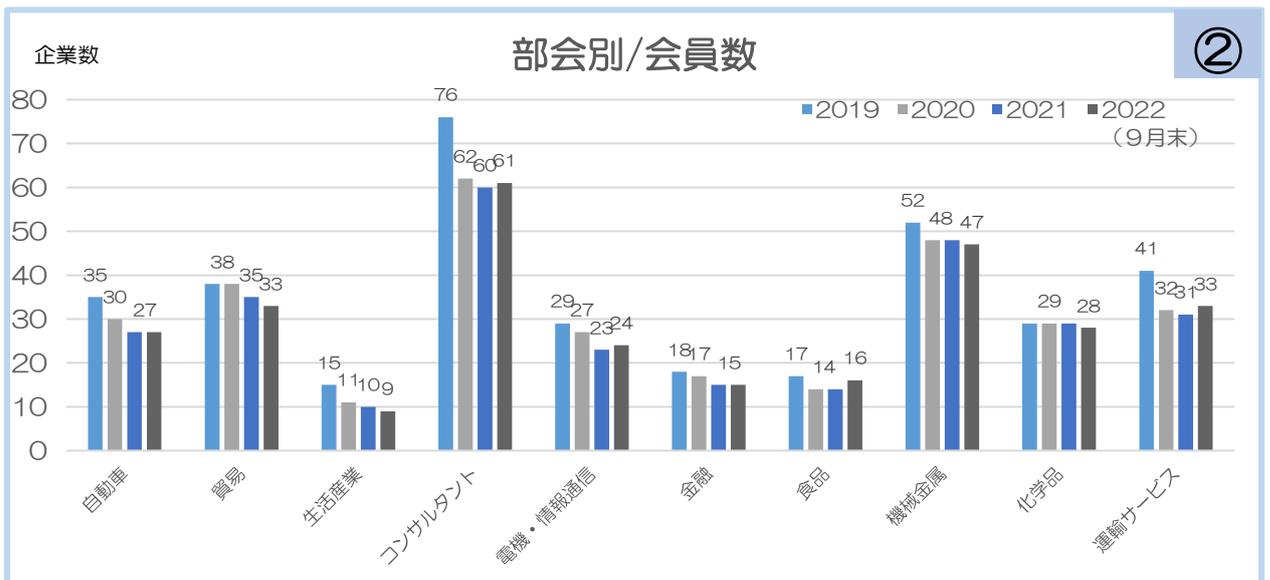
訪問カテゴリー一覧	対面	Web	ハイブリッド	カテゴリー別/合計
代表交替挨拶・着任	24	3	0	27
表敬・挨拶	10	0	0	10
入会	5	0	0	5
面談・会議	47	0	0	47
会員事業紹介	5	0	0	5
その他	1	0	0	1
形式別/合計	92	3	0	95

5. 会員数の推移

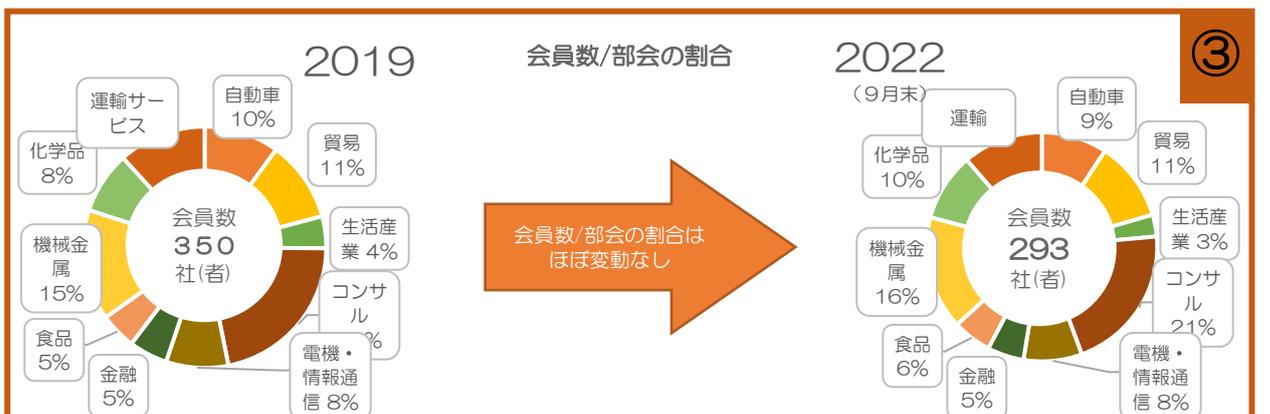
2021年12月末290社から3社増、2022年末に293社。昨年から今年にかけてコロナ禍の影響は続くが回復基調にあると言える。



国籍別会員の推移として19年の350社(者)から20年に308社(者)、21年には292社(者)に激減。22年は減少が停止、1社(者)増。

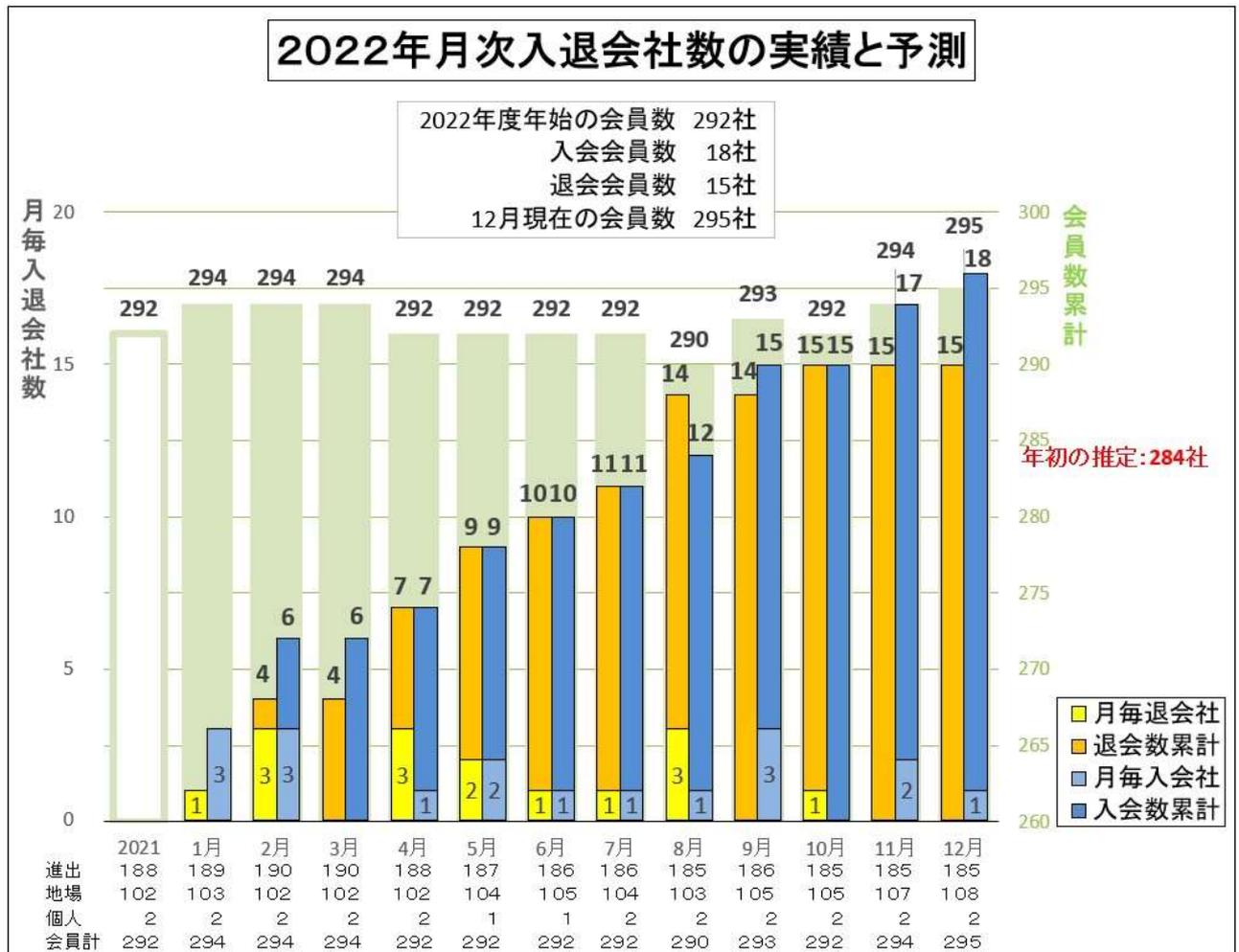


部会別/会員数では化学品を除いて、19年比すべて減少



会員数は減ったが部会の割合にはほぼ変動なし。

現在会員数 : 11月 290社 / 02個人 ⇒ 12月 293社 / 02個人
 進出企業 : 185社 (2021年12月末 188社より3社減)
 地場企業 : 108社 (2021年12月末 102社より6社増)
 合計 : 293社 (前年同月より3社増)



2022 入会部会別表

進出企業

部会	企業名	進出企業	入会月	進出	地場	入会理由		退会理由
食品 (2社)	CKC CONSULTORIA DE ENGENHARIA LTDA.	建設コンサルタント業	1月21日	B		相談や助言が得られること。	初	
	AOKI TECHNICAL LABORATORY DO BRASIL LTDA.	プラスチック射出成型機販売・メンテナンスサービス	2月18日	B		会員企業との交流。	再	経費削減による退会
コンサル	TODA INVESTIMENTOS DO BRASIL	再生可能エネルギー事業	2月18日	B		市場情報収集、ネットワーキング。	初	
運輸サ	SANKYU LOGISTICS DO BRASIL LTDA	国内外ロジスティクス	8月19日	A1		情報収集。	再	弊社の財政状況と同業界の不況の為。
電機情報	KONICA MINOLTA BUSINESS SOLUTION DO BRASIL	コピー機販売事業	9月23日	A1		ネットワーキング・情報交換	再	経費削減による退会

部会	企業名		入会月	進出	地場	入会理由		退会理由
コンサル (6社)	ALMEIDA, ROTENBERG E BOSCOLI SOCIEDADE DE ADVOGADOS (DEMAREST ADVOGADOS)	弁護士事務	1月 21日		C	会員企業との交流。	初	
	WATANABE E PASCOWITCH SOCIEDADE DE ADVOGADOS	弁護士事務	4月 22日		E	会員企業との交流。	初	
	FUJIYOSHI HIRATA	コンサルタント	7月 22日		PF	ネットワーキング・情報交換	初	
	TUNIBRA ASSESSORIA PARA IMIGRANTES LTDA.	移民サポートサービス	9月 23日		E	会員企業との交流。	初	
	COLORKREW INC. BRASIL EIRELI	ソフトウェア開発事業	9月 23日		E	ネットワーキング・情報交換	初	
	LOBO & DE RIZZO SOCIEDADE DE ADVOGADOS	弁護士事務	11月 18日		E	ネットワーキング・情報交換	初	
運輸サ (3社)	WTB AGÊNCIA DE VIAGENS E TURISMO LTDA	旅行会社	5月 20日		E	会員企業との交流。	初	
	TUNIBRA VIAGENS COMPANY LTDA	旅行会社	11月 18日		E	会員企業との交流。	再	事業閉鎖のため。
	LIDER CORP	旅行会社	12月 13日		E	会員企業との交流。	再	非常事態による退会
食品	BRAZIL FOOD SERVICE REPRESENTANTE COMERCIAL - EIRELI	食品、農産物の商品開発、国際貿易・国内売員の仲介	2月 18日		E	昨年パラナ州の大手畜産2組合の日本市場顧問を始めた為、日本企業とのコンタクトを広めたい。	初	
電機情報	LODESTARSEG CORRETORA DE SEGUROS E SERVICOS LTDA	電機・情報通信	1月 21日		E	会員企業との交流。	初	
金融	BANCO CITIBANK	銀行	5月 20日		C	会員企業との交流。	初	
貿易	IFCORPORATION REPRESENTAÇÃO E COMERCIO LTDA	トレーディング、コンサルタント会社	6月 17日		E	会員企業との交流。	再	会費滞納による除名

2022 退会 部会別表
進出企業

部会	企業名	入会歴			カテゴリー		退会理由	会議所への要望事項
		入会日	在籍期間	退会月	進出	地場		
金融 (2社)	BANCO TOYOTA DO BRASIL S.A	99年6月	22年11ヵ月	5月20日	A1		日本人駐在員1名でかつ、中南米全体をカバーしている事から、同会の活動に参加する時間が取れない状況であるため。	特になし。
	CSI LATINA ARRENDAMENTO MERCANTIL S.A	16年7月	5年12ヵ月	6月17日	A2		会議所の活動に参加する時間が取れない状況であるため。	特になし。
生活産業	CONSTRUTORA TODA DO BRASIL S.A.	84年7月	37年7ヵ月	2月18日	A1		ブラジル事業撤退のため。	特になし。
コンサル	NIKKEI FT LEARNING LTD	21年11月	0年5ヵ月	4月22日	B		非常事態による経費削減。	特になし。
化学品	ASTELLAS FARMA BRASIL LTDA	09年10月	12年6ヵ月	4月22日	A1		会議所の活動に参加していなかった。	製薬業界向けの活動。
貿易	SATO AUTO-ID DO BRASIL LTDA	17年11月	4年9ヵ月	8月19日	A2		経費削減。	特になし。
機械金属 (2)	IKO SERVIÇOS EMPRESARIAIS LTDA.	17年12月	4年8ヵ月	8月19日	B		経費削減。	特になし。
	CBC INDÚSTRIAS PESADAS S.A.	84年6月	38年4ヵ月	10月21日	A1		駐在員減少により、活動への参	特になし。

Transição de Associados
2022 年度月次国籍別の会員表-1

Ano: 2022

Mês 月	入退会 残	Origem 国籍						TOTAL 合計	OB S
		Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジ ル	Estran 外資	Total 計 Empresa s	PF 個人		
1	Adesão	1	0	2	0	3	0	3	
	Desliga	0	1	0	0	1	0	1	
	Saldo	189	59	34	10	292	2	294	
2	Adesão	2	1	0	0	3	0	3	
	Desliga	1	1	1	0	3	0	3	
	Saldo	190	59	33	10	292	2	294	
3	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	190	59	33	10	292	2	294	
4	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	2	0	1	0	3	0	3	
	Saldo	188	59	33	10	290	2	292	
5	Adesão	0	1	0	1	2	0	2	
	Desliga	1	0	0	0	1	1	2	
	Saldo	187	60	33	11	291	1	292	
6	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	1	0	0	0	1	0	1	
	Saldo	186	60	34	11	291	1	292	
7	Adesão	0	0	0	0	0	1	1	
	Desliga	0	0	1	0	1	0	1	
	Saldo	186	60	33	11	290	2	292	
8	Adesão	1	0	0	0	1	0	1	
	Desliga	2	0	1	0	3	0	3	
	Saldo	185	60	32	11	288	2	290	
9	Adesão	1	1	1	0	3	0	3	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	186	61	33	11	291	2	293	
10	Adesão	0	0	0	0	0	0	0	
	Desliga	1	0	0	0	1	0	1	
	Saldo	185	61	33	11	290	2	292	
11	Adesão	0	1	1	0	2	0	2	
	Desliga	0	2	0	0	2	0	3	
	Saldo	185	60	34	11	290	2	292	
12	Adesão	0	0	1	0	1	0	1	
	Desliga	0	0	0	0	0	0	0	
	Saldo	185	60	35	11	291	2	293	
入会	Adesão	5	4	7	1	17	1	18	
退会	Desliga	8	4	4	0	16	1	17	
残	Saldo	185	60	35	11	291	2	293	

Transição de Associados
 年度/国籍別の会員推移 表-2

ANO 年	入退会 残	Origem 国籍						PF 個人	TOTAL
		Japonesas 進出	Nikkeis 日系	Brasileiras ブラジル	Estrangeiras 外資	Sub 計	Soma 合計		
2000	Adesão	1	6	3	1	10	11	3	14
	Desliga	3	2	0	0	2	5	0	5
	Saldo	156	83	34	17	134	290	3	293
2001	Adesão	2	3	2	0	5	7	11	18
	Desliga	3	7	4	0	11	14	0	14
	Saldo	155	79	32	17	128	283	14	297
2002	Adesão	2	4	1	0	5	7	0	7
	Desliga	7	2	6	1	9	16	0	16
	Saldo	150	81	27	16	124	274	14	288
2003	Adesão	7	7	9	2	18	25	3	28
	Desliga	14	2	4	1	7	21	2	23
	Saldo	143	86	32	17	135	278	15	293
2004	Adesão	5	10	8	2	20	25	3	28
	Desliga	7	3	6	1	10	17	5	22
	Saldo	141	93	34	18	145	286	13	299
2005	Adesão	11	5	7	4	16	27	4	31
	Desliga	8	9	5	4	18	26	4	30
	Saldo	144	89	36	18	143	287	13	300
2006	Adesão	7	9	5	1	15	22	2	24
	Desliga	4	2	5	0	7	11	3	14
	Saldo	147	96	36	19	151	298	12	310
2007	Adesão	8	7	8	1	16	24	0	24
	Desliga	2	11	10	1	22	24	0	24
	Saldo	153	92	34	19	145	298	12	310
2008	Adesão	7	5	1	2	8	15	0	14
	Desliga	3	7	2	3	12	15	2	17
	Saldo	157	90	33	18	141	298	10	308
2009	Adesão	11	8	4	3	15	26	1	27
	Desliga	3	6	5	4	15	18	1	19
	Saldo	165	92	32	17	141	306	10	316
2010	Adesão	7	8	11	4	23	30	0	30
	Desliga	2	7	5	1	13	15	4	19
	Saldo	170	93	38	20	151	321	6	327
2011	Adesão	14	4	5	1	10	24	0	24
	Desliga	3	9	5	3	17	20	0	20
	Saldo	181	88	38	18	144	325	6	331
2012	Adesão	23	5	5	0	10	33	1	34
	Desliga	3	7	6	2	15	18	1	19
	Saldo	201	86	37	16	139	340	6	346
2013	Adesão	25	6	10	3	19	44	0	44
	Desliga	7	7	8	2	17	24	1	25
	Saldo	219	85	39	17	141	360	5	365
2014	Adesão	20	6	10	2	18	38	0	38
	Desliga	8	10	7	0	17	25	0	25

	Saldo	231	81	42	19	142	373	5	378
2015	Adesão	12	9	4	1	14	26	0	26
	Desliga	9	10	13	4	27	36	1	37
	Obs.	+3	-1	-9	-3	-13	-10	-1	-11
	Saldo	234	80	33	16	129	363	4	367
2016	Adesão	6	6	5	1	12	18	0	18
	Desliga	14	5	3	2	10	24	1	25
	Obs.	-8	+1	+2	-1	+2	-6	-1	-7
	Saldo	226	81	35	15	131	357	3	360
2017	Adesão	9	5	7	4	16	25	0	25
	Desliga	18	9	4	2	15	33	2	35
	Obs.	-9	-4	3	2	1	-8	-2	-10
	Saldo	217	77	38	17	132	349	1	350
2018	Adesão	7	10	8	0	18	25	0	25
	Desliga	8	8	5	4	17	25	0	25
	Obs.	-1	2	3	-4	1	0	0	0
	Saldo	216	79	41	13	133	349	1	350
2019	Adesão	6	8	9	2	19	25	1	25
	Desliga	10	6	9	1	16	26	0	25
	Obs.	-4	2	0	1	3	0	0	0
	Saldo	212	81	41	14	136	348	2	350
2020	Adesão	2	2	6	0	8	10	0	10
	Desliga	16	14	16	6	36	52	0	52
	Obs.	-14	-12	-10	-6	-28	-42	0	-42
	Saldo	198	69	31	8	108	306	2	308
	Adesão	3	2	4	2	8	11	0	11
2021	Desliga	13	11	3	0	14	27	0	27
	Obs.	-10	-9	1	2	-6	-16	0	-16
	Saldo	188	60	32	10	102	290	2	292
	Adesão	5	4	7	1	12	17	1	18
2022	Desliga	8	4	4	0	8	16	1	17
	Obs.	-3	0	3	1	4	1	0	1
	Saldo	185	60	35	11	106	291	2	293

業種別部会/国籍別毎の会員数 表-3
202年12月現在

	Dep 部会	Japon 進出	Nikkeis 日系	Brasil ブラジ ル	Estrang 外資	Soma 計	PF 個人	TOTAL
	Dez-2022	185	60	35	11	291	2	293
1	Automotivo 自動車	24	3	0	0	27	0	27
2	Comércio Exterior 貿易	27	3	2	1	33	0	33
3	Bens Básicos 生活産業	6	3	0	0	9	0	9
4	Consultoria e Asses コンサル	4	24	26	5	59	2	61
5	Equipamentos Elétricos, Informação e Comunicação 電機・情報通信	21	3	0	0	24	0	24
6	Financeiro 金融	08	1	4	2	15	0	15
7	Gêneros Alimentícios 食品	12	4	0	0	16	0	16
8	Metal- Mecânica 機械 金属	41	3	1	1	46	0	46
9	Produtos Químicos 化学品	27	1	0	0	28	0	28
10	Transportes e Serviços 運輸サービス	15	15	2	2	34	0	34

2022年1月 活 動 報 告 書

日	内容 (要約)	参加人数	講師	参加費	備考
01	正月				
02	日曜日				
03	年末一斉休暇				
04					
05					
06	(ZOOM) 全国工業連合会 (CNI) 日伯ビジネス評議会のLudmila Carvalho事務局長とオンライン会議開催。参加者は全国工業連合会 (CNI) 日伯ビジネス評議会(Cebraj)のLudmila Carvalho事務局長とブラジル日本商工会議所の平田藤義事務局長、日下野政次総務担当、梶原レチシアアシスタント、伊藤ルーベンス編集担当				WEB 他の団体との会議1
07					
08	土曜日				
09	日曜日				
10					
11					
12					
13	(ZOOM) 金融部会(讃井 慎一 部会長)オンライン懇談会。初めに讃井部会長から2021年度下期金融部会活動報告、2022年度金融部会部会長並びに副部会長を紹介、長野 昌幸 新部会長は2022年度金融部会活動方針について、3月開催予定のオンラインフォーラムでのマクロ経済、銀行業界動向並びに保険業界動向、勉強会・外部スピーカーによるセミナー、部会懇親会のそれぞれの担当旗振り役やセミナーの内容などについて意見交換を行った。	17人			WEB 部会1
14					
15	土曜日				
16	日曜日				
17					
18	ステコミ会議				WEB 理事会 ステコミ1
19	財務委員会会合開催。昨今の経済状況など、中銀データや各種経済指数を用いながら、前向きな会議所活動を推進して行くために、22年度収支予算について突っ込んだ意見交換を行った。出席者：財務委員会から福元信義委員長(副会頭、Banco MUFG Brasil頭取)、木阪明彦副委員長(Banco MUFG Brasil副頭取)、石川裕巳副委員長(丸紅ブラジル取締役)。事務局からは平田藤義事務局長、日下野政次総務担当、上田エレナ会計担当、久場アレッシャンドレ会計担当補佐。 (ZOOM)今年初めての法律委員会(岩尾 玄委員長)開催。GRM Advogados 弁護士事務所のThiago Mancini Milanese 弁護士は、テーマ「納税の機会：IRPJ、CSLL、PISおよびCOFINSの計算基準から州税のICMS税の除外」について、続いて Machado Meyer Advogados 弁護士事務所のMurilo Caldeira Germiniani 弁護士は、テーマ「従業員への予防接種の必要性和正当な理由による解雇の可能性」についてそれぞれ講演した。	55人			委員会1 WEB 月例会1
20					
21	理事会				WEB 理事会ス

	<p>(ZOOM)2022年 オンライン新年会開催。村田俊典会頭は会頭挨拶及び所信表明。林禎二大使は、昨年12月3日に着任。新任大使の抱負、モットーとして、ビジネス環境改善に全力を尽くすので、些細な問題でも気軽に相談できる雰囲気醸し出して、大使館の敷居をゼロにすると説明。桑名良輔総領事は、ブラジル赴任して1年5か月が経過して痛感することは、中南米諸国を圧倒するブラジルのポテンシャル、懐の深さ。一朝一夕では動かないブラジルは小手先ではなく、中長期的に腰を据えて取組む必要性を説明。</p> <p>(ZOOM) 日本ブラジル中央協会並びにラテンアメリカ協会共催の山田彰前在ブラジル日本国大使講演会開催。テーマ「4年3か月の駐ブラジル大使を終えて」について講演した。</p>				<p>テコ ミ2 WEB 新年 会懇 親昼 食会1</p> <p>WE B 他 の団 体と の会 議・ シン ポ・ セミ フォ ーラ ム1 から WE B 他団 体主 催の セミ ナー 1に 訂正</p>
2 2	土曜日				
2 3	日曜日				
2 4					
2 5					
2 6	<p>(ZOOM)今年初めてオンライン労働問題研究会開催。Montaury Pimenta, Machado & Viera de Mello弁護士事務所特許関連サービス部門のDiego Boschetti Muszkopf主任及びGabriela Salernoパートナーは、テーマ「INPIでの特許出願の審査をスピードアップする方法- PPHブラジルと日本の協定の実際的な側面」、続いてMadrona Advogados弁護士事務所労務担当のFernanda Dias Ferraz弁護士並びにIsabella Fraia弁護士は、テーマ「変動報酬と柔軟な福利厚生との付与：支払い慣行」についてそれぞれ講演した。</p>	4 6 人			WEB 月例 会2
2 7					
2 8					
2 9	土曜日				
3 0	日曜日				
3 1					

2022年2月 活 動 報 告 書

日	内容(要約)	参加人数	開催場所	参加費	備考
01					
02					
03	02→ 03に訂正 (ZOOM) 今年初めてのオンライン食品部会懇談会開催。21年度活動および22年度活動方針案の報告後の、参加者は、各社の昨年の回顧、今年の展望、SDG s の取組について発表	19人			WEB部会懇談会1
04					
05	土曜日				
06	日曜日				
07	JCI 新会頭就任式。村田会頭		文協貴賓室		他団体主催のイベント1
08					
09	(ZOOM) 第1回オンライン運輸サービス部会懇談会。ドラフト資料を基に参加者がテーマ:「部会による2021年度下期の振り返り並びに今後の展望」について発表。参加者は藤代部会長(NX)、大胡新部会長(MOL)、日根副部会長(HIS)、今安氏(JAL)、保阪氏(ONE)、湯原(NYK)氏、谷口氏(IDL)、行徳氏(K-LINE)、村田氏(SUZUYO)、文岡氏(QUICKLY TRAVEL)、コダマ氏(WTE)、宮本次長(ジェトロサンパウロ事務所)、渡邊副領事(在サンパウロ総領事館)、中野副領事(在サンパウロ総領事館)、吉田調査員(在サンパウロ総領事館)、平田事務局長、日下野総務担当、大角編集担当	18人			WEB部会懇談会2
10	今年初めてのハイブリッド形式化学品部会懇談会。参加者はそれぞれ自社の昨年下半年の回顧と今年の展望について発表。 事務局担当委員会との会合開催。 事務局担当委員会の長島公一委員長、天野義仁副委員長並びに田口達也副委員長は、平田藤義事務局長並びに日下野政次総務担当とアンケート結果に関する打合せを行った。	21人			対面部会懇談会1 対面委員会1
11					
12	土曜日				
13	日曜日				
14	2021年第4四半期の業務・会計監査開催。 事務局から2021年第4四半期及び通年の現金預金並びに有形固定資産、収入、支出などの財務諸表とその詳細、入会・退会状況、会費延滞状況などについて説明、それに対する監事会側からの質問やアドバイスを受けた。最後に監事会は、「2021年第4四半期の会議所の業務遂行と会計処理は適正であったこと」を承認 監事会から二宮正人監事会議長(Advocacia Masato Ninomiya)、佐藤マリオ監事(Global Link Consultoria)、ウーゴ・アマノ監事(BDO監査法人 オンライン参加)、財務委員会から福元信義委員長(副会頭、Banco MUFU Brasil)、事務局担当委員会の長島公一委員長(丸紅株式会社)。 事務局からは平田藤義事務局長、日下野政次総務担当、上田エレナ会計担当、久場アレクサンドレ会計担当補佐が参加				監事会1、
15	ステコミ会議 (ZOOM) 第1回機械金属部会開催。 3月4日に自動車部会及び機械金属部会共催のフォーラム向け発表資料作成のため、参加者は昨年の回顧及び今年の展望について発表。	20人			WEB定例

					理事会、ステコミ1
					WEB部会懇談会3
16	Zoom) コンサルタント部会懇談会開催。3月3日の金融部会共催の部会長フォーラムの発表資料作成で意見交換を行った。 (ZOOM)2月の法律委員会月例会開催。Abe Giovanini Advogados弁護士事務所のGustavo Barroso Taparelliパートナー及びMaira Cristina Madeiraパートナーはテーマ「州間高速道路の運営に課せられたICMS DIFALの発生率に関連して、補完法190/2022が最終消費者に与える影響」について、続いて Tauil & Chequer Advogados弁護士事務所の Flávio Amaral Garciaパートナーは、テーマ「入札および行政契約制度の主な変更点：進歩と課題」についてそれぞれ講演	12人			WEB部会懇談会4 WEB月例会1
17					
18	理事会				WEB定例理事会、ステコミ2
19	土曜日				
20	日曜日				
21					
22	(ZOOM) 第2回オンライン運輸サービス部会。 2月9日の第1回運輸サービス部会に続いて、3月7日の貿易部会共催の部会長フォーラムでの発表資料作成では、ドラフト資料を基に参加者がテーマ：「部会による2021年度下期の振り返り並びに今後の展望」について発表。	17人			WEB部会懇談会5
23	(ZOOM)2月のオンライン労働問題研究会開催。初めに KPMG社のLuís Wolf Trzcina取締役パートナーは、テーマ「ESG & Tax」について、 Deloitte Touche Tohmatsu社のCláudia Martins Gomesディレクター及びAline Lacerdaマネージャーは、テーマ「サービスアウトソーシング- 主なリスクと企業がそれらを回避する方法」についてそれぞれ講演 天皇誕生日祝賀会。村田会頭、鈴木ワグネル副会頭	66人		文協	他団体主催のイベント2

	会頭、バラー日系商工会議所の山中 正二 副会頭、ブラジル日本商工会議所の村田俊典 会頭が講演。				
1 1					
1 2	土曜日				
1 3	日曜日				
1 4					
1 5	ステコミ 春の叙勲祝賀会 村田会頭参加				WEB定例理事会、ステコミ1 他団体主催のイベント1
1 6	日伯法律委員会(岩尾 玄委員長)主催のオンライン月例会開催。初めに Madrona 弁護士事務所の Igor Nascimento de Souza パートナー及び Francisco Leocádio Ribeiro Coutinho Neto シニア 弁護士は、テーマ「税務計画：シミュレーションに関する STF および CARF の見解と、150% の罰金」について、続いて Tozzini Freire 弁護士事務所の Marco Aurélio Torronteguy パートナーは、テーマ “Fornecimento de medicamentos sem aprovação da ANS e/ou medicamentos de alto custo pelos planos de saúde” についてそれぞれ講演	40 人			WEB月例会1
1 7					
1 8	(ZOOM) 第 72 回定期総会開催。村田俊典会頭は開催挨拶。福元信義財務委員長は、2021 年度収支決算報告及び 2022 年度収支予算計画案を発表。佐藤マリオ監事は、監事会意見として、商工会議所の 2021 年 1 月 1 日より同 12 月 31 日までの事業報告書並びに貸借対照表、収支決算書、財産目録（什器及び機材類）および業務を監査、適切であると認め、ここに報告すると説明。村田会頭は、2022 年度事業・収支予算計画書案のオンライン形式による投票では、総会として投票者全員の賛成で承認されたと説明。	80 人			WEB総会・臨時理事会1
1 9	土曜日				
2 0	日曜日				
2 1					
2 2					
2 3	(ZOOM) 3 月のオンライン労働問題研究会開催。Cescon Barriou 弁護士事務所の DARIO ABRAHÃO RABAY パートナーは、テーマ『ハラスメントのない職場環境』について、Lefosse 弁護士事務所の JULIANA DANIEL パートナー及び NATÁSSIA MISAE UENO 弁護士は、テーマ『腐敗防止の慣行・公的機関と契約する際の注意事項』についてそれぞれ講演	57 人			WEB月例会2
2 4					
2 5					
2 6	土曜日				
2 7	日曜日				
2 8					
2 9					
3 0					
3 1					

2022年4月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
0 1					
0 2	土曜日				
0 3	日曜日				
0 4					

0				
5				
0				
6				
0				
7				
0				
8				
0	土曜日			
9				
1	日曜日			
0				
1				
1				
2				
1	(ZOOM)日伯法律委員会(岩尾 玄委員長)主催のオンライン月例会、Mattos Filho弁護士事務所のThiagoLuísSombraパートナー並びにAdrianoTrindadeパートナーは、テーマ「鉄道の法的枠組み：生産部門への規制の影響」について、続いてGaia Silva Gaede弁護士事務所のHeitor César Ribeiroパートナー及びRegina Márcia Vieira Nunes Gouvêade Castroシニア弁護士は、テーマ「蓄積されたJCP-新しいアプローチ」についてそれぞれ講演	32人		Web月例会1
1	(ZOOM)労働WG情報交換会。大谷社長による東レブラジルの「NS社員定着化」への取り組み開園会開催			Web)労働WG懇談会1
4				
1	イースター			
5				
1	土曜日			
6				
1	日曜日			
7				
1				
8				
1	(ZOOM)ステコミ会議			Webステコミ会議。理事会1
9				
2	(ZOOM)企業経営委員会(讃井慎一委員長)主催の4月のオンライン労働問題月例会、Demarest 弁護士事務所のCássia Fernanda Pizzottパートナーは、テーマ「労働法の観点から見た在宅勤務の課題」、続いてEYの労働および社会保障分野のTatiana Carmonaパートナー及びRodrigo Oliveiraパートナーは、テーマ「法人の雇用における課題」についてそれぞれ講演	93人		Web月例会2
0				
2	ティラデントスの日			
1				
2	(ZOOM)理事会			Webステコミ会議。理事会2
2				
3	土曜日			
2	日曜日			
4				
2				
5				
2	社会福祉団体「こどものその」事務局のコンピューター機器の寄贈式。 セルジオ・オダ理事長は今年64年を迎え、現在約65人の知的障がい者のケアを行っている「こどものその」の沿革等について説明、続いて福元信義財務委員長より寄贈品目録がオダ理事長へ渡された。 寄贈式には「こどものその」レナト・ミヤニシ総務担当、会議所からは日下野成次総務担当、上田エレナ会計担当、久場アレシャンドレ会計アシスタントも参加。			部会・委員会・分科会・WG主催のセミナー、イベント1
6				
2				
7				
2	ジェットロ・ブエノスアイレス事務所主催、ブラジル日本商工会議所並びにジェットロ・サンパウロ事務所支援によるオンラインセミナーは、テーマ「ウルグアイを活用した中南米サプライチェーン・オペレーションの最適化」で開催。			WEB 会員企業主催のWEBセミナー1
8				
2				
9				
3	土曜日			
0				

2022年5月 活 動 報 告 書

日	内容 (要約)	参加人数	講師	参加費	備考
01	日曜日メーデー				
02					
03					
04					
05	2022年第1四半期の業務・会計監査。川裕巳副委員長(丸紅ブラジル)が参加、事務局から2022年第1四半期及び通年の現金預金並びに有形固定資産、収入、支出などの財務諸表とその詳細、入会・退会状況、会費延滞状況などについて説明、それに対する監事会側からの質問やアドバイスを受けた。最後に監事会は、「2022年第1四半期の会議所の業務遂行と会計処理は適正であったこと」を承認。監事会から二宮正人監事会議長(Advocacia Masato Ninomiya)、佐藤マリオ監事(Global Link Consultoria)、ウーゴ・アマノ監事(BDO 監査法人)、財務委員会から木坂明彦委員長(Banco MUFG Brasil)、石川裕巳副委員長(丸紅ブラジル)。事務局からは平田藤義事務局長、日下野成次総務担当、上田エレナ会計担当、久場アレッシャンドレ会計担当補佐が参加。				対面監事会理事会ステコミ1
06					
07	土曜日				
08	日曜日				
09					
10					
11					
12	(ZOOM)日伯法律委員会(岩尾 玄委員長)主催のオンライン月例会開催。Demarest 弁護士事務所の MAURÍCIO BARRO パートナーは、テーマ「現在の商品サービス流通税(ICMS)の問題:転送に関する連邦最高裁判所の決定(ADC 49)とクレジット残高の蓄積」、続いて Pinheiro Neto 弁護士事務所の PEDRO AUGUSTO ASSEIS シニア弁護士は、テーマ「法人税(IRPJ)並びに純益に対する社会納付金(CSLL)計算ベースからの州税制優遇措置の除外-最新情報と機会」についてそれぞれ講演。	55人			WEB月例会1
13					
14	土曜日				
15	日曜日				
16					
17	(ZOOM)ステコミ会議				WEB理事会ステコミ1
18	(ZOOM)企業経営委員会(讀井慎一委員長)主催の5月のオンライン労働問題月例会開催。VBD 弁護士事務所の THALITA DE MARCO VANI 弁護士並びに YURI NABESHIMA 弁護士は、『経営幹部向けのインセンティブ:ベネフィット及び追加報酬としての株式持分の付与』、Machado Meyer 弁護士事務所の RODRIGO SEIZO TAKANO パートナー及び MURILO CALDEIRA GERMINIANI 弁護士は、テーマ『パンデミック後の就業時間の管理:実用的な側面とリスクの軽減』についてそれぞれ講演した。	70人			WEB月例会2
19					
20	(ZOOM)理事会				WEB理事会ステコミ2
21	土曜日				
22	日曜日				
23	経済産業省の山中 修大臣官房審議官(通商政策局)一行との意見交換会開催。山中審議官(元在ブラジル日本国大使館公使)からの挨拶に始まり、続いて小寺日伯経済交流促進委員長が商工会議所の活動を紹介、その後、会議所各分会				対面他の団体との会議 1

	からの参加者よりビジネス上の問題点や日伯貿易投資促進委員会への要望、日メルコスル EPA の要望などについて説明が行われ、活発な質疑応答セッションが行われた。最後には平田事務局長からのコメント、同審議官の閉会挨拶で終了。 参加者は (経済産業省)山中修大臣官房審議官、村山勝彦中南米室長、堀江大地中南米室係長、深田萌子経済連携課係長 (総領事館)渡邊聡太副領事 (JETRO)原宏所長、宮本敏央次長 (商工会議所)小寺副会頭(三井物産、日伯経済交流促進委員長)、秋山副会頭(日本製鉄、機械金属)、亀岡化学品部会長(東洋インキ)、渡辺化学品部副会長(三井化学)、水守電機・情報通信部会長(NTT)、井上トヨタ中南米本部長(自動車部会)、平田事務局長				
24	(ZOOM)コンサルタント部会(笹澤誠一部会長)主催の M&A セミナー開催。TMI 総合法律事務所(現在 Cescon, Barrieu, Flesch & Barreto Advogados 出向中)の柏健吾 弁護士は、ブラジル M&A 法律編。Deloitte 社の池谷裕一氏並びに安岡正哉氏は、ブラジル M&A 検討時の留意点及び PMI についてそれぞれ講演。				WEB部会・委員会セミナー1
25	(ZOOM)異業種交流委員会(吉田伸弘委員長)主催のオンラインセミナー開催。日系 2 世の斎藤俊男氏を迎えて、テーマネギ王・斎藤俊男様の逆転人生」で講演 山中 修審議官(大臣官房通商政策局)一行は、予定通り 24 日ブラジル経済省の関係部局長等を訪問、日伯貿易投資促進産業協力委員会(略称:貿投委)の開催日程等について意見交換を行った。 参加者は経済産業省:山中修大臣官房審議官、村山勝彦中南米室長、堀江大地中南米室係長、深田萌子経済連携課係長 JETRO サンパウロ:原宏所長、宮本敏央次長 会議所関係者:小寺副会頭(日伯経済交流促進委員長)、中村副会頭(食品部会長・総務委員長)、木阪副会頭(財務委員長)、渡辺化学品副会長、水守電機・情報通信部会長、平林自動車部会メンバー、平田事務局長	約 50 人			WEB部会・委員会セミナー2 対面他の団体との会議 2
26	(ZOOM)マナウス・フリーゾーン監督庁(SUFRAMA)の ルイス・フレデリコ・オリヴェイラ・デ・アギアル(Luiz Frederico Oliveira de Aguiar)貿易部総括代理と平田藤義会議所事務局長との面談がオンラインで行われた。 マナウスフリーゾーンのポテンシャルをあらためて紹介するために行われたこの会合でアギアル氏はパワーポイントを用いて詳しい説明を行った。 1967 年に開設された経済特区の他、周辺の西アマゾン地域、自由貿易地域の紹介に始まり、各種税制恩典制度やロジスティックインフラの現状、新規プロジェクトとしてのバイオテクノロジーセンターなどについて説明。				WEB 他団体との会議 1
27					
28	土曜日				
29	日曜日				
30					
31					

2022年6月 活動報告書

日	内容(要約)	参加人数	講師	参加費	備考
01					
02					

03				
04	土曜日			
05	日曜日			
06	在ブラジル日本国大使館の高野修一公使と運輸サービス部会の意見交換会。主に海運業界の会員企業代表者が集まり、参加者らと共にサントス港湾の課題などについて意見交換を行った。 参加者： ・在ブラジル日本国大使館 高野修一公使 塩野進一等書記官 岩崎英明一等書記官 ・在サンパウロ日本国総領事館 渡邊聡太副領事 吉田佳代副領事 ・商工会議所 運輸サービス部会 大胡俊武部会長（商船三井ブラジル） 藤代泰輔副部会長（NXブラジル） 湯原慶メンバー（ブラジル日本郵船） 保阪朋宏メンバー（Ocean Network Express） 谷口雅治メンバー（IDL Express） キムラ・シンメンバー（Ocean Network Express） 平田藤義事務局長			
07				
08				
09				
10	(ZOOM) 課税通関WG オンライン懇談会開催。参加者は天野氏（KPMG） 三上氏（KPMG） 笹澤氏（EY） 松川氏（住友商事） 安岡氏(Deloitte) 谷口氏（IDL） 永井氏(日清紡) 古木氏（JETRO） 岩崎書記官（在伯大） 渡邊副領事（在サンパウロ総） 平田事務局長 大角編集担当			
11	土曜日			
12	日曜日			
13				
14	(ZOOM)ステコミ会議 (ZOOM)広報委員会開催、新サイト問題についての意見交換会 9人参加			
15	(ZOOM)6月の法律委員会月例会開催。Montaury Pimenta, Machado & Viera de MelloのPABLO TORQUATOパートナーは、テーマ『INPIにおける技術提供契約の承認登録の重要性 – 登録手続きの各ステップを解説する』“A importância da averbação de contratos de fornecimento de tecnologia no INPI – Um passo a passo do processo”について、続いてEYのCAIO ALBINOパートナーとLUANA DE AMARAL 弁護士はテーマ『OECD（経済協力開発機構）ガイドラインに基づくブラジルの新しい移転価格税制』“Nova regra de preços de transferência no Brasil baseada nas diretrizes da OCDE” についてそれぞれ講演。	65人		
16				
17	(ZOOM)理事会			
18	土曜日			
19	日曜日			
20	(ZOOM)コンサルタント部会懇談会開催、8月25日開催のカマラフォーラムでの発表内容について意見交換。参加者 笹澤氏（EY） 安岡氏（Deloitte） 天野氏（KPMG） 三上氏（KPMG） 柏氏（Cescon Barrieu） 山下氏（Yacon） 原所長（ジェトロサンパウロ事務所） 青木次長（JICA） 酒井氏（戸田インバースチメント） カルガノ氏（Abe Giovanini Advogados） 渡邊副領事（総領事館） 吉田調査員（総領事館）			

	平田事務局長（商工会議所） 大角編集担当（商工会議所）				
2					
1					
2	(ZOOM)6月のオンライン労働問題研究会開催. Sato Advogados AssociadosのDIRCEU SATOパートナーは、テーマ『LGPD（ブラジル個人情報保護法）に基づく有罪判決の例』“Exempl os de condenação baseada na LGPD”について、Licks AdvogadosのDOUGLAS LEITEパートナー及びFLÁVIO BUZANOVSKI 弁護士は、テーマ『個人データに関するインシデント発覚時の対処方法』“O que fazer ao identificar um incidente de dados pessoais”についてそれぞれ講演	88人			
2					
3					
2					
4					
2	土曜日				
5					
2	日曜日				
6					
2					
7					
2					
8					
2					
9					
3					
0					

2022年7月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01					
02	土曜日				
03	日曜日				
04					
05					
06					
07	(ハイブリッド)JETRO サンパウロ事務所(原宏所 長)、JICA ブラジル事務所(江口雅之所長)並びに 商工会議所コンサルタント部会(天野義仁部会長) の共催の IDB(米州開発銀行)の大西靖アジア担 当顧問のハイブリッド特別講話開催。	60人			部会・委員会・分科会・ WG 主催のセミナー、イ ベント1
08					
09	土曜日				
10	日曜日				
11					
12					
13	(ZOOM)6月のオンライン法律委員会開催。初め に Saeki Advogados の Luiz Renato Moura Leite パートナー及び Mariana de Souza Ramos シニア弁 護士は、テーマ「税務上の影響の調整」につい て、PwC Brasil の Orlando F. Dalcin パートナー及 び Laura Malmegrin シニアマネージャーは、テ マ「累積 ICMS クレジット:eCredac に関連する実用 的なトピックス」についてそれぞれ講演した。	60人			WEB月例会1
14	三井住友銀行の南誠会長、猪狩伸平氏、小林正 和氏が会議所を訪問。来月再開されるゴルフコン ペや今年度の忘年会の開催等、今後の異業種交 流委員会活動について意見交換を行った。 渉外広報委員会(長野昌幸委員長)は、2022年7 月14日午後2時から3時まで9人が参加して開 催。商工会議所の新サイトプロジェクトの方向性 に関する意見交換や今後の新サイトプロジェクトに 関するマネージングやスケジュールなど多岐に亘 って意見交換を行った。参加者は渉外広報委員 会から長野委員長、田辺副委員長、中村副委員 長、広佐古副委員長、石田委員、会議所から平 田事務局長、日下野総務担当、梶原アシスタント、 大角編集担当				委員会1 委員会2
15					
16	土曜日				
17	日曜日				

18					
19	(ZOOM)ステコミ会議開催。				WEB理事会ステコミ1
20	(ZOOM)7月のオンライン労働問題研究会開催。 初めに Taul & Chequer Advogados associado a Mayer Brown の ALINE FIDELIS パートナーは、テーマ『企業の労使関係を改善するツールとしての ESG の S(S: Social=社会)』について、続いて Madrona Advogados の FERNANDA OLIVEIRA DA SILVA は、テーマ『マネジャーと取締役の採用における実務および契約』についてそれぞれ講演した。	74人			WEB月例会2
21					
22	(ZOOM)理事会開催。 2年5カ月ぶりの懇親昼食会に120人が参加して開催。桑名良輔総領事はテーマ「我が国の外交とブラジル(主にサンパウロの視点から)」と題して講演	120人			WEB理事会ステコミ2
23	土曜日				
24	日曜日				
25					
26					
27					
28					
29					
30	土曜日				
31	日曜日				

2022年8月 活動報告書

日	内容(要約)	参加人数	講師	参加費	備考
01					
02					
03	(ZOOM)運輸サービス部会懇談会開催。8月31日開催の第3フォーラム発表資料作成で意見交換を行った。参加者は大胡新部会長(MOL)、藤代副部会長(NX)、野口副部会長(HIS)、保阪氏(ONE)、湯原氏(NYK)、谷口氏(IDL)、行徳氏(K-LINE)、坂本氏(全日空)、文岡氏(QUICKLY TRAVEL)、江上氏(WEC)、井上氏(WTB Travel)、宮本次長(ジェトロサンパウロ事務所)、小宮一等書記官(日本大使館)、宍戸領事(在サンパウロ総領事館)、渡邊副領事(在サンパウロ総領事館)、平田事務局長、日下野総務担当、大角編集担当				WEB部会懇談会1
04	2022年第2四半期の業務・会計監査。監事会から二宮正人監事会議長(Advocacia Masato Ninomiya)、佐藤マリオ監事(Global Link Consultoria)、幕田潤監事(Tozzine Fereire Adv)、財務委員会から石川裕巳副委員長(丸紅ブラジル)、オンラインで木坂明彦委員長(Banco MUFG Brasil)が参加、事務局からは平田藤義事務局長、日下野成次総務担当、上田エレナ会計担当、久場アレッシャンドレ会計担当補佐が参加した。				対面監事会1
05	(ZOOM)オンライン安全対策セミナー開催。総務委員会(中村茂雄委員長)安全対策チーム(近藤繁也チームリーダー)主催、司会は近藤繁也チームリーダー、講演者はサンパウロ翔領事館の仲谷領事、渡邊副領事、釜谷医務官が務めた。 (ZOOM)オンラインコンサル部会懇談会開催。ブラジル経営環境概況では、中国や韓国企業によるM&A投資内容、スタートアップ企業への投資や出資、ESGへの投資の関心増加。ウクライナ危機によるブラジルへの影響では、ロシアによるウクライナ侵攻に対する地政学的有利なブラジルへの投資誘致、ロシア、ウクライナの対ブラジル貿易への影響。在ブラジル日本大使館の中野公使による大統領選挙への展望についての講演など多岐に亘って意見交換された。 コメントを求められた平田事務局長は、今までの部会長フォーラムでは、ゲストは講評やコメントだけであったが、今回初めてゲストによる時期的に的を得た講。演を組み入れたのは素晴らしい構成と評価。 参加者 天野氏(KPMG) 三上氏(KPMG) 安岡氏(Deloitte) 原所長(ジェトロサンパウロ事務所) 久森参事官(日本大使館) 渡邊副領事(総領事館) 吉田調査員(総領事館) 平田事務局長(商工会議所) 大角編集担当(商工会議所)	約100人			WEBセミナー1 WEB部会懇談会2

06	土曜日				
07	日曜日				
08					
09					
10	(ZOOM) 食品部会懇談会開催。8月末開催の部会長フォーラムでの発表資料作成のために、各参加者は、自社の今年上期の回顧及び直近のビジネス環境変化とその対応事例について発表。	29人			WEB部会懇談会3
	参加者 社名 ブラジル味の素 ブラジル味の素 ブラジル味の素 ブラジル味の素 キッコーマン ブラジル高砂香料工業 碧川琢哉 ブラジル高砂香料工業 杉山泰広 ハラルド TRADBRAS NAGASE NAGASE 日清食品 ヤクルト ヤクルト ゼンショー イグアスコヒー 松井俊樹 JTI 中央開発 Kanematsu America do Sul 木寺健 タキイ・ド・ブラジル有限会社 上村剛 Aoki Technical Laboratory 古越 敬児 BRFS – BRAZIL FOOD SERVICE 小寺健一 BRFS – BRAZIL FOOD SERVICE 佐藤 智則 Jetro 大使館 総領事館 総領事館 商工会議所 事務局 平田藤義 商工会議所 事務局 大角総丙	氏名 中村茂雄 武井智 岡本武 升田 雅紀 尾崎英之 中尾 伸一 森和哉 和久津 道夫 石原 亘 中村 友一 根本 篤 吉富 秀憲 原昭吾 関口 尚 山口 達朗 斎藤 裕之 小川大輔 渡邊聡太 吉田佳代			
11					
12	(ZOOM)異業種交流委員会主催のブラジル日本文化福祉協会の石川レナト会長講演会開催。 (ZOOM) 化学品部会懇談会開催。	約90人			WEBセミナー2 WEB部会懇談会4
	参加者 亀岡 (東洋インキ) 和久津 (ナガセブラジル) 石原 (ナガセブラジル) 大澤(日本農薬ブラジル) 渡辺(三井化学) 古賀 (ロート製薬) 設楽 (日産化学) 藤井(東洋紡) 郷園 (PILOT PEN) 松木 (双日) 浅川(住友商事) 清水(住友商事) 三寺 (ADEKA) 大久保(ハリマ・ド・ブラジル) 金子(K-I Chemica) 碧川 (高砂ブラジル) 渡邊 (在サンパウロ総)				

	古木 (ジェットロ) 宮本 (ジェットロ) 平田 (商工会議所) 大角 (商工会議所)				
1 3	土曜日				
1 4	日曜日				
1 5					
1 6	ステコミ会議				WEB 理事会 ステコ ミ1
1 7	(Teams) オンライン機械金属部会懇談会開催。8月30日開催のフォーラムでの発表資料作成のために、参加者は、テーマ2022年上期の回顧と今後の展望について発表した。 参加者 MITSUBISHI IND. PESADAS 山田 HITACHI SOUTH AMERICA 三好 NIPPON STEEL AMÉRICA DO SUL 秋山 METAL ONE 加藤 CBC 石井 CBC 永松 KOMATSU BRASIL 中川 KOMATSU BRASIL 圓道 TADANO BRAIL 平野 AMADA ラミレス EBARA BOMBAS AMERICA DO SUL 小野澤 YOKOGAWA AM. SUL 田野口 TMEIC G2 二本松 KYOCERA DO BRASIL 中土居 IDEMITSU LUBE 木内 NSK BRASIL 片岩 NTN DO BRASIL 中野 在サンパウロ日本総領事館 渡邊副領事 在サンパウロ日本総領事館 吉田副領事 JETROサンパウロ 松平次長 JETROサンパウロ 宮本次長 JETROサンパウロ 古木調査部長 ブラジル日本商工会 平田事務局長 ブラジル日本商工会 大角編集担当 ブラジル日本商工会 梶原アシスタント (ZOOM)8月の法律委員会月例会開催。70人参加 初めにDeloitte Touche Tohmatsu のJULLY SILVA 弁護士とDANIEL KIATAQUI 弁護士は、テーマ『Nomad Visa』“Nomad Visa”について、続いてGaia, Silva, Gaede Advogados のHEITOR CESAR RIBEIRO パートナーは、テーマ② 『租税総合調整理事会 (Cosit) 対策協議第22号 (Solução de Consulta nº 20) および日本の居住者へのロイヤルティおよびサービスの支払いに対する源泉徴収所得税 (IRRF) 』“A Solução de Consulta Cosit nº 20/2022 e a tributação do IRRF nos pagamentos de royalties e serviços a residentes no Japão”についてそれぞれ講演した。			WEB 部会 懇談 会5	
					WEB 月例 会1

18	(Teams)オンライン自動車部会懇談会開催。参加者は、秋山氏（ホンダサウスアメリカ）、小郷氏（Denso do Brasil Ltda.）、大崎氏（Denso do Brasil Ltda.）、長田氏（Aishin Automotive）、増岡氏（ブラジルトヨタ）、平林氏（ブラジルトヨタ）、佐々木氏（ホンダサウスアメリカ）、出野氏（ホンダサウスアメリカ）、吉岡氏（TRBR）、木内氏（出光）、内田氏（出光）、出岡氏（NGK）、宮本次長（ジェットロサンパウロ事務所）、渡邊副領事（サンパウロ総領事館）、吉田副領事（サンパウロ総領事館）、平田事務局長、日下野総務担当、大角編集担当				WEB部会懇談会6
19	理事会 8月の懇親昼食会開催。講師はProspectivaコンサルタント会社創業者のリカルド・セネス 政治学者	約90人			WEB理事会ステコミ2懇親昼食会1イースタンブラザホテル
20	土曜日				
21	日曜日相互啓発委員会(南誠委員長)主催の第56回カマラゴルフ大会開催。優勝はKAMEOKA様（Toyo Ink Brasil）様。2位にはTANOGUCHI様（Yokogawa America do Sul）。3位はAMANO様（KPMG）。ベストグロス賞はTANOGUCHI 様(同上)が獲得。	42名			対面イベント1
22					
23					
24	(ZOOM)オンライン運輸サービス部会懇談会開催。参加者は大胡新部会長 (MOL)、野口副部会長 (HIS)、湯原氏 (NYK)、谷口氏 (IDL)、行徳氏 (K-LINE)、今安(日航)、井上氏(WTB Travel)、宮本次長(ジェットロサンパウロ事務所)、古木調査部長(ジェットロサンパウロ事務所)、久森参事官(日本大使館)、小宮一等書記官(日本大使館)、宍戸領事(在サンパウロ総領事館)、渡邊副領事(在サンパウロ総領事館)、平田事務局長、日下野総務担当、梶原アシスタント、大角編集担当 (ZOOM)8月のオンライン労働問題研究会開催。65人が参加。初めに Souto Correa AdvogadosのCLARISSA YOKOMIZO パートナーはテーマ『企業における優れたガバナンス慣行の利点』“Os benefícios de boas práticas de governança nas empresas”について、 TozziniFreire AdvogadosのGABRIELA LIMA ARANTES パートナーとMARIANA FIOROTTO PEREIRA 弁護士はテーマ『国境を越えたテレワークーデジタルノマド』“Teletrabalho transnacional – Nômades digitais”についてそれぞれ講演した。			WEB部会懇談会7 WEB月例会2	
25					
26					
27	土曜日				
28	日曜日				
29	(ZOOM) 金融部会並びにコンサルタント部会合同の2022年下期の第1回オンライン部会長フォーラム開催。初めにコンサルタント部会の天野義仁部会長は、「2022年度上期の振り返りと下期の見通し」、副題：「ウクライナ危機を経験し、ブラジル（及び南米）市場のビジネス環境変化を踏まえて各部会・業界の対応は？（地政学的に見たブラジル市場）」について、在ブラジル日本国大使館の中野大輔公使は、ブラジル大統領選挙と経済見通し・トピックと題して、金融部会の南氏、長野昌幸部会長は、保険業界動向について講演。				WEBセミナー3
30	(ZOOM) 機械金属部会並びに自動車部会合同の2022年下期の第二回オンライン部会長フォーラム開催。				WEBセミナー4
31	(ZOOM) 運輸サービス部会並びに貿易部会共催の2022年下期の第三回オンライン部会長フォーラム開催。				WEBセミナー5

2022年9月 活動報告書

日	内容(要約)	参加人数	講師	参加費	備考
01					

02	(ZOOM)化学品部会並びに食品部会共催の第4回部会長フォーラム開催。化学品部会の亀岡部会長は、テーマ 2022年上期振り返りと今後の展望について、続いてロート・ブラジル・ホールディング社の古賀社長は、ロート製薬概要と題して、食品部会の部会長は、テーマ 2022年上期の振り返り並びに今後の展望について講演。	約 80 人			WEB 部会セミナー1
03	土曜日				
04	日曜日				
05					
06	(ZOOM)生活産業部会並びに電機・情報通信部会共催の 2022 年下期の第 5 回部会長フォーラム開催。生活産業部会の川頭部会長は、テーマ 2022 年上期の振り返りと今後の展望について、電機・情報通信部会の水守部会長は、テーマ 2022 年上期の回顧と今後の展望についてそれぞれ講演した。	約 80 人			WEB 部会セミナー2
07	独立記念日				
08	外務省の小林麻紀中南米局長と日メルコスール EPA の早期交渉開始の可能性やビジネス環境の改善、ブラジル政治経済の見通し、地政学的リスクが各業界に与える影響などについて意見交換会開催。 参加者 官側： 小林麻紀 外務省 中南米局長 桑名良輔 在サンパウロ日本国総領事 井手博之 在サンパウロ日本国総領事館領事 穴戸孝志 在サンパウロ日本国総領事館領事 会議所側（順不同）： 村田俊典 会頭（双日） 小寺勇輝 副会頭、日伯経済交流促進委員長（三井物産） 長野昌幸 理事、金融部会長／渉外広報委員長（三井住友保険） 水守信介 理事、電機・情報通信部会長（NTT） 田辺 靖 理事、電機・情報通信部会副部会長／渉外広報副委員長（NEC） 天野義仁 理事、コンサルタント部会長（KPMG） 秋葉 浩 貿易部会長（伊藤忠商事） 川頭義人 生活産業部会長（クラシキ） 渡辺弘樹 化学品部会副部会長（三井化学） 尾崎英之 食品部会副部会長（キッコーマン） 野口和行 運輸サービス部会副部会長（H.I.S.） 平林 敦 自動車部会長代理（トヨタ） 平田藤義 事務局長				他の団体との会議 1
09					
10	土曜日				
11	日曜日				
12					
13					
14	(ZOOM)日伯法律委員会(岩尾 玄委員長)主催のオンライン月例会を開催。VBD Advogados の	94 人			WEB 月例会 1

	LEONARDO FREITAS DE MORAES E CASTRO パートナーは、テーマ『国際コストシェアリング～最近の連邦決議に伴う課税とその実施について』、続いて Demarest Advogados の CARLOS EDUARDO MARINO ORSOLON パートナーは、テーマ『経営者及び顧問への報酬における税額控除』について講演した。				
15					
16					
17	土曜日				
18	日曜日				
19					
20	ステコミ会議				WEB 理事会ステコミ 1
21	イノベーション・中小企業委員会（原 宏委員長）の第 2 回イノベーション研究会は Distrito 社本部訪問。講師の Gustavo Araujo 氏（Distrito 創業者）と KPMG の Oliver Cunningham 氏（KPMG Brazil 所属/LEAP 創業者）より、Innovation Ecosystem in Brazil and LATAM countries についての発表 (ZOOM)企業経営委員会(島田領委員長)主催の 9 月のオンライン労働問題月例会開催。初めに KPMG の DANIELLE BIBBO ダイレクター及び BRUNA CONCÍLIO マネージャーは、テーマ『どこからでも作業』、続いて PwC の MARESSA JURICIC パートナーは、テーマ『一般データ保護法への適応過程で学んだことと今後の展望』講演した。	27人 96人			部会・委員会セミナー・イベント 1 WEB 月例会 2
22					
23	理事会 懇親昼食会開催。林大使は、テーマ「最近のブラジル情勢（大統領選挙を含む）と日本との二国間関係の動き」について講演した。 レイチ環境大臣との意見交換会開催。 意見交換会では①クリーンエネルギー（再生エネルギー） ②メタン排出削減の為の固形廃棄物処理 ③カーボンクレジット市場メカニズム ④グリーン投資 ⑤グリーンな自動車産業の為の政策の 5 分野について意見交換を行った。 参加メンバー ブラジル環境省（2名） レイチ環境大臣、フォルテス特別補佐官 大使館（3名） 林大使、久森経済参事官、長谷川書記官 領事館（1名） 吉田副領事 カマラ（20名） 村田会頭、秋山副会頭（環境委員会）、小寺副会頭、大纏副会頭、梅田（食品）、長野（金融）、島田（金融）、谷口（運裕サービス）、川頭（生活産業）、ヨ	約 90 人 26 人			理事会ステコミ 2 昼食会 1 Gran Estanplaza Berrini ホテル 部会・委員会主催セミナー 2

	シムラ（自動車）、スガハラ（自動車）、天野（コンサル）、泥谷（貿易）、石原（化学部品）、三好（機械金属）、水守（電機・情報）、藤本（環境委員会）、小郷（環境委員会）、江口（JICA）、平田事務局長				
24	土曜日				
25	日曜日				
26					
27					
28					
29					
30					

2022年10月 活 動 報 告 書

日	内容（要約）	参加人数	講師	参加費	備考
01	土曜日				
02	日曜日				
03					
04	日伯交流・地場企業推進委員会（委員長鈴木ワグネル）主催の懇親朝食会。司会は三原フェルナンド副委員長が務めた。鈴木ワグネル委員長の挨拶に始まり、続いて村田俊典会議所会頭が日本のマネジメントスタイル等について講演を行った。その後、「日本企業とのビジネス- 文化の違い、課題並びにアドバイス（“Como fazer negócios com as empresas japonesas? - diferenças culturais, desafios e recomendações.”）」と題して、大野友香副委員長がモデレーターとなり、村田会頭と佐々木リカルド副委員長とのパネルディスカッションが行われた。	約60人			ホテルBlue Tree Premium Paulista 対面朝食会1
05					
06					
07					
08	土曜日				
09	日曜日				
10					
11	2023年／2024年度理事・監事選挙の開票。理事選挙の開票にあたって2023/2024年理事選挙管理委員会の二宮正人委員長、池谷裕一委員、佐藤マリオ委員、2023／2024年度監事選挙管理委員会の中村茂雄委員長、鈴木ワグネル委				対面委員会1

2 6	<p>ピネイロ・ネット法律事務所及び企業経営委員会（島田 領委員長）共催セミナー開催。ピネイロ・ネット法律事務所労働担当のルイス・アントニオ・フェハス・メンデス パートナー弁護士は、テーマ「ブラジルの労働法について、続いて同法律事務所税務担当のビニシウス・ピメンタ・セイシャス シニア・アソシエイトは、テーマ「税制上の側面として、最後に同法律事務所ジャパンデスク担当の大野 友香 パートナー弁護士は、日本語によるテーマ「リスク軽減についてそれぞれ講演。</p> <p>(ZOOM) オンライン労働問題月例会開催。初めにStüssi Neves AdvogadosのMARIA LÚCIA MENEZES GADOTTI パートナーは、テーマ『法律 14457/2022 - Emprega+Mulheresプログラム及び子育て支援について』 “Lei 14457/2022 - Programa Emprega + Mulheres e apoio à parentalidade”、続いてMattos FilhoのMARÍLIA VEIGA RAVAZZI とJOSÉ DANIEL GATTI VERGNA 弁護士は、テーマ『集団解雇：組合介入対組合交渉 - RE 999.435 における 最高裁判所の最近の決定”』 “Dispensa coletiva: intervenção sindical x negociação sindical - a recente decisão do STF no RE 999.435” についてそれぞれ講演。</p>	9 0 人			ピネイロ・ネット法律事務所 対面セミナー1
		5 7 人			WEB 月例会2
2 7					
2 8					
2 9	土曜日				
3 0	日曜日				
3 1					

2022年11月 活 動 報 告 書

日	内容 (要約)	参加人数	講師	参加費	備考
0 1					
0 2	Finado				
0 3	<p>イノベーション・中小企業委員会主催のRPA活用事例オンラインセミナー開催。 NTTデータの鈴木秀一氏は、テーマ「RPAとは何か」。テーマ「メタルワンにおける活用事例」。最後にNTTデータの中嶋慶子氏は、テーマ「ラテンアメリカ域における自動化プロジェクト」について講演した。</p> <p>2022年第3四半期の業務・会計監査開催。監事会は、「2022年第3四半期の会議所の業務遂行と会計処理は適正であったこと」を承認した。監事会から二宮正人監事会議長 (Advocacia Masato Ninomiya)、佐藤マリオ監事(Global Link Consultoria)、財務委員会から木坂明彦委員長(Banco MUFG Brasil)、石川裕巳副委員長 (丸紅ブラジル)、事務局からは平田藤義事務局長、日下野成次総務担当、上田エレナ会計担当、久場アレッシャンドレ会計担当補佐が参加した。</p> <p>渉外広報委員会(長野昌幸委員長)開催、商工会議所の新サイトプロジェクトに関する今後のマネージングやスケジュールなど多岐に亘って意見交換を行った。参加者は渉外広報委員会から長野委員長、田辺副委員長、中村副委員</p>			WEB部会 委員会 セミナー1 ステコ ミ・理 事会・ 監事会1	

	長、広佐古副委員長、石田委員、会議所から平田事務局長、日下野総務担当、梶原アシスタント、大角編集担当				対面委員会1
04					
05	土曜日				
06	日曜日				
07					
08					
09					
10					
11	<p>フォーラム委員会（森谷伸晃委員長）並びに電機・情報通信部会（水守信介部会長）共催のICTセミナー開催。竹内文孝氏は、テーマ「いま、企業を強くするためのサイバーリスクマネジメント～「個の自律」と「集団の調和」による共助のすすめ～」、講演第二部は、NTT DATA Inc. グローバルビジネスイネーブルメント室の中尾太郎氏は、テーマ「モバイルネットワークの市場・技術動向とITプレイヤーの動きOpen & Virtualized NetworkやPrivate 5Gの影響」。講演第三部ではNTTドコモXR推進室の清水一郎担当部長は、テーマ「NTTドコモのXR/Virtualityへの挑戦」～XRの取り組みおよび消費者向け及び企業向けサービス紹介～について講演した。</p> <p>イノベーション・中小企業委員会（原宏委員長）主催のブラジルのSDGs関連スタートアップ紹介セミナー開催。初めにCUBI ENERGIA社は、工場等のエネルギー使用状況をモニタリングすることでエネルギー消費量を削減について紹介。</p>	60人			WEB部会委員会セミナー2 Japan House 部会委員会セミナー1
12	土曜日 相互啓発委員会主催の第57回カマラゴルフ大会開催。	35名			サンパウロPLゴルフクラブ 部会委員会セミナー2

1 3	日曜日				
1 4	ステコミ				WEBステ コミ・ 理事会 ・監事 会1
1 5					
1 6	日伯法律委員会(岩尾 玄委員長)主催のオンライン月例会開催。初めにKPMGのROBERTO ASSIS BORDINHÃO パートナーとRENAN YANEZ CATHARINO ダイレクターは、テーマ『ビジネス戦略におけるデータの力』。続いてAbe AdvogadosのAmanda Silva Tomaz Pereira弁護士及び Filipe Santos Gomes弁護士は、テーマ『納税義務と最近の高等裁判所の判決』 “Aについて 講演した。	4 0 人			WEB月例 会1
1 7					
1 8	28名の次期理事が出席し臨時理事会が開催された。二宮正人 2023/24 年度 会頭選挙管理委員長より同選挙の結果を報告。小寺勇輝 現・副会頭(日伯 経済交流促進委員長)が次期会頭に選出され、承認された。 11月の懇親昼食会開催。日系銀行3行のエコノミストによるパネルディス カッションでは、木阪明彦副会頭はパネリストを紹介、モデレーターは MUFU 銀行シニアエコノミストのマウリシオ・ナカホド氏、パネルディスカ ッションにはみずほ銀行チーフストラテジストのルシアーノ・ロスタルゴ 氏、MUFU 銀行シニアエコノミストのカルロス・アルマンド・ペドロゾ氏 並びに三井住友銀行コーポレートバンキングおよび金融機関責任者のマルコ ス・カマルゴ氏が参加、テーマ「ルラ新大統領の経済政策や 2023 年以降の 経済動向」について多岐に亘ってディスカッションを行った。	1 2 0 人			対面臨 時理事 会1 チボリ ホテル 昼食会1
1 9	土曜日				
2 0	日曜日				
2 1					
2 2	コンサルタント部会主催「ブラジル法制度に関する第1回基礎セミナー」開 催。講師に現在 Cescon, Barriau, Flesch & Barreto Advogados 出向中の TMI 総合法律事務所の柏健吾氏を迎えて講演、 フォーラム委員会(森谷伸晃委員長)主催のオンラインセミナー開催。講師 はジェットロボゴタ事務所の豊田哲也所長、テーマ「初の左派政権を迎えたコ ロンビアの今」について講演	1 3 0 人			WEB 部会セ ミナー3 WEB 部会セ ミナー4
2 3	企業経営委員会(島田領委員長)主催の11月のオンライン労働問題月例会開 催。初めに Gaia, Silva, Gaede Advogados の MARIA BEATRIZ RIBEIRO DIAS TILKIAN パートナーと CRISTIANA ALLI MOLINEIRO 弁護士は、テーマ『雇用 契約における LGPD の実務的側面』続いて Abe Advogados の BIANCA MARTINS JULIANI 弁護士は、テーマ『有能な人材を維持する方法としての戦略的報酬 形態』についてそれぞれ講演した。	5 7 人			WEB月例 会2
2 4					

2 5	異業種交流委員会主催の西森ルイス連邦下院議員は、テーマ「今後のブラジル政治経済及び日伯関係」についてオンライン講演会開催。	7 5 人			WEB 部会セ ミナー5
2 6	土曜日				
2 7	日曜日				
2 8					
2 9					
3 0					

2022年12月 活 動 報 告 書

日	内容 (要約)	参加人数	講師	参加費	備考
01					
02					
03	土曜日				
04	日曜日				
05					
06					
07					
08	ステコミ				WEB 理事会ステコミ 1
09					
10	土曜日				
11	日曜日				
12					
13	理事会				WEB 理事会ステコミ 2
14					
15	忘年会				昼食会・忘年会1
16					
17	土曜日				
18	日曜日				
19					
20					
21	年末一斉休暇 1月3日迄				
22					
23					
24	土曜日				
25	日曜日				
26					
27					
28					
29					
30					
31	土曜日				